

### 第3章 地域の概況及び地域特性



### 第3章 地域の概況及び地域特性

#### 3.1 調査対象地域の設定

計画地及びその周辺における環境情報を収集し、計画地を含む周辺の地域特性の把握を行いました。本事業は、米軍から返還された小柴貯油施設跡地を、現存する緑地を活用して広域公園として再整備するもので、生活環境（大気汚染、水質汚濁、騒音・振動等）へ大きな影響を及ぼす大規模発生源が建設される予定はありません。このため、環境への影響を検討するに当たり周辺地域の状況を調査する範囲は、図 3.1 に示す計画地を中心とした約 4.5km×4.5km の区域（以下、「調査対象地域」といいます。）を対象とすることを基本としました。また、統計情報については、調査対象地域を含む金沢区、磯子区を対象としました。

なお、環境情報の収集は、「横浜市環境配慮指針 資料編」（平成 27 年 7 月改定、横浜市）に基づいて行いました。

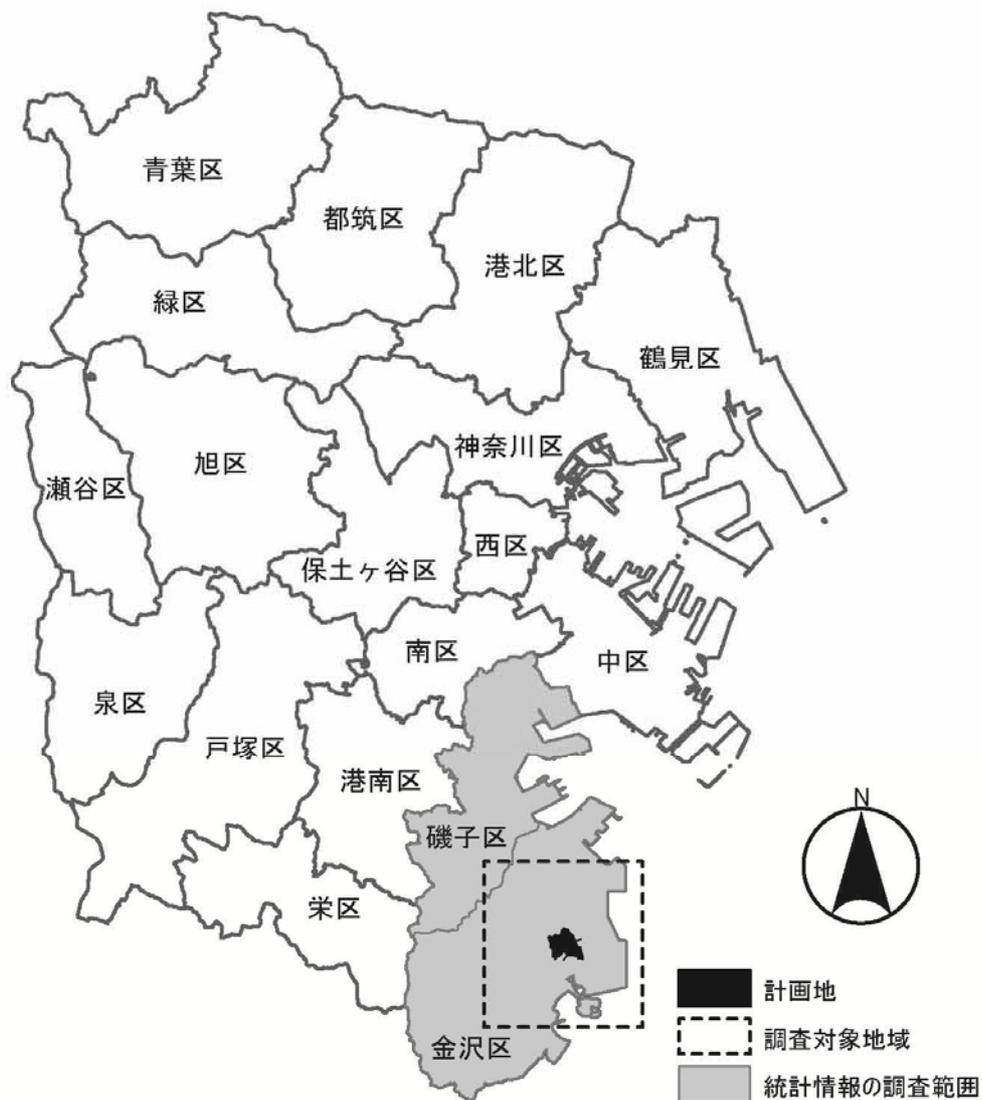


図 3.1 調査対象地域及び統計情報の調査範囲

## 3.2 地域の概況

### 3.2.1 気象の状況

計画地の北側約 10km に位置する横浜地方気象台(横浜市中区山手)における平成 27 年の気象状況は、表 3.2-1 に示すとおりです。

平成 27 年の年間平均気温は 16.7℃、相対湿度 70%、降水総量 1,836.0mm、平均風速 3.4m/s、最多風向は北となっています。

表 3.2-1 気象の状況(平成 27 年)

項目	年間	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平均気温(℃)	16.7	6.2	6.4	10.5	14.6	20.8	21.9	26.0	26.8	22.9	18.9	14.7	10.1
最高気温(℃)	20.5	10.4	10.5	15.0	18.8	25.4	25.8	29.7	30.2	26.2	22.6	17.9	13.7
最低気温(℃)	13.6	2.7	3.3	6.9	11.1	17.3	19.1	23.4	24.4	20.5	15.9	11.9	7.1
相対湿度(%)	70	55	60	61	74	68	78	81	79	79	67	74	60
曇量(10分比)	6.9	4.5	5.6	6.0	8.1	7.0	8.9	7.7	7.4	8.5	6.1	7.1	5.9
平均風速(m/s)	3.4	3.7	3.5	3.9	3.7	3.6	2.8	3.6	3.3	3.2	3.3	3.2	3.5
最多風向	北	北	北	北	北	南西	南	南西	北	北	北	北	北
日照時間(h)	2,076.1	188.9	167.3	184.9	152.5	249.9	143.1	204.8	176.8	125.4	192.0	122.9	167.6
日照率(%)	47	61	55	50	39	58	33	46	42	34	55	40	55
降水総量(mm)	1,836.0	106.5	53.0	113.0	121.0	69.5	145.5	325.5	118.0	483.0	54.0	137.0	110.0

資料：「横浜市統計書[web 版]」(横浜市政策局総務部統計情報課ホームページ、平成 28 年 10 月調べ)

### 3.2.2 地形、地質、地盤の状況

#### 1) 地形

調査対象地域の地形の状況は、図 3.2-1 に示すとおりです。

調査対象地域の西側は、平坦化地となっており、計画地周辺の自然地形が残されている丘陵地は谷の発達著しいため、起伏に富んだ地形となっています。

また、東側の沿岸部では広範な埋立が進み、自然の海岸線は失われています。

沿岸部の埋立の変遷は、図 3.2-2 に示すとおりです。

#### 2) 地質

調査対象地域の表層地質の分布状況は、図 3.2-3 に示すとおりです。

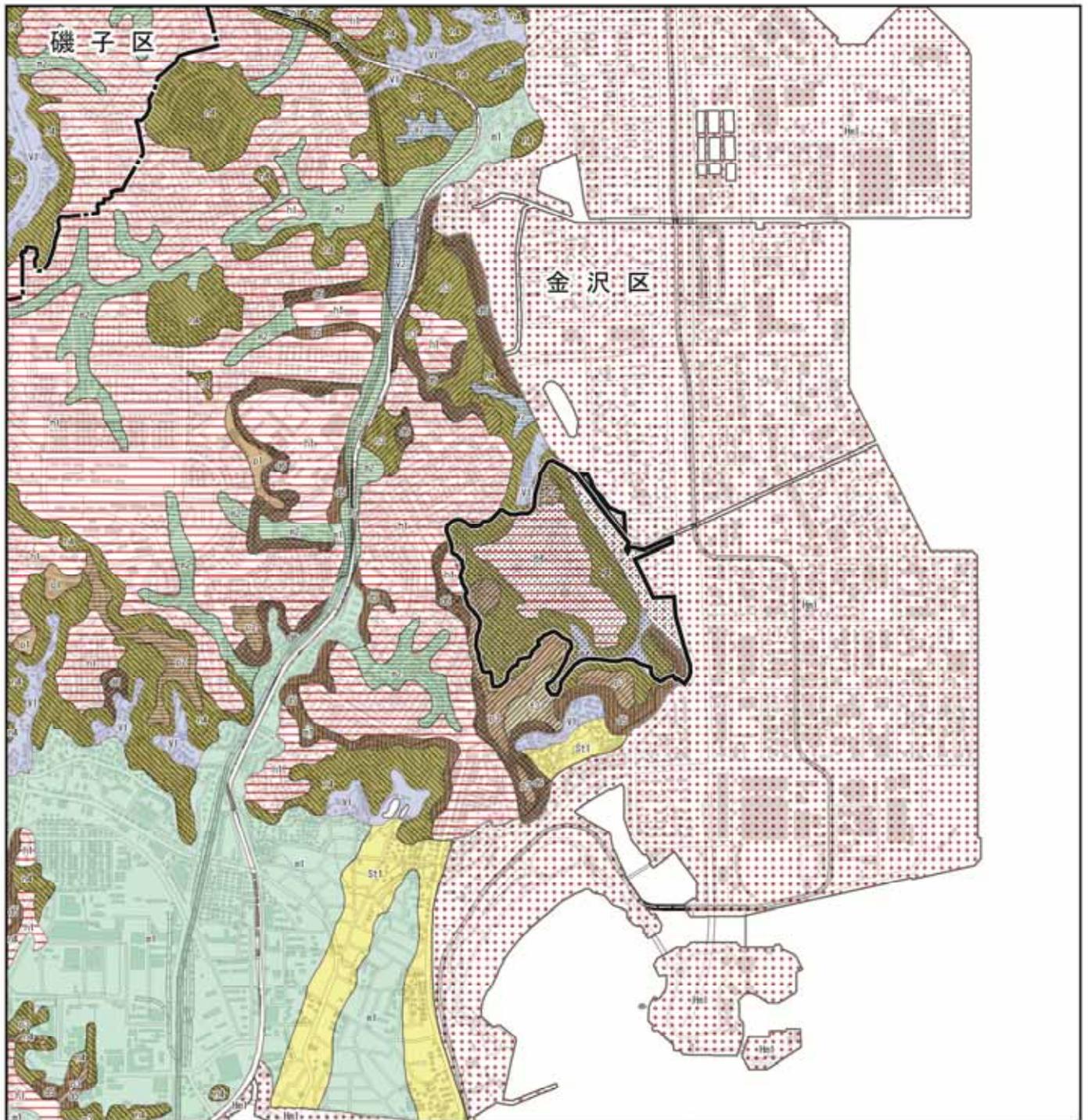
調査対象地域の海岸沿いの低地部は埋立土に、調査対象地域南西側の宮川流域の低地部は泥を主とする低湿地堆積物となっています。丘陵地は砂・泥細互層(浜層)、砂質泥岩(中里層)、凝灰質砂岩及び砂岩(小柴層)、泥岩(大船層)などからなっています。

#### 3) 地盤

調査対象地域の軟弱地盤の分布状況は、図 3.2-4 に示すとおりです。

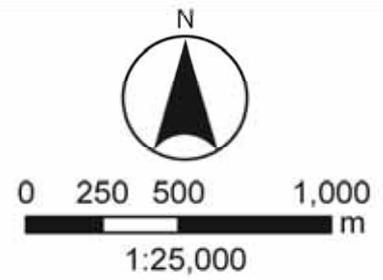
計画地の北側から東側にかけては層厚 5~10 m の軟弱地盤が分布し、調査対象地域南西側の宮川流域は層厚 10~20 m の軟弱地盤が分布しています。

計画地の大部分は丘陵地及び台地面となっていますが、一部に層厚 0~5 m の軟弱地盤が分布しています。



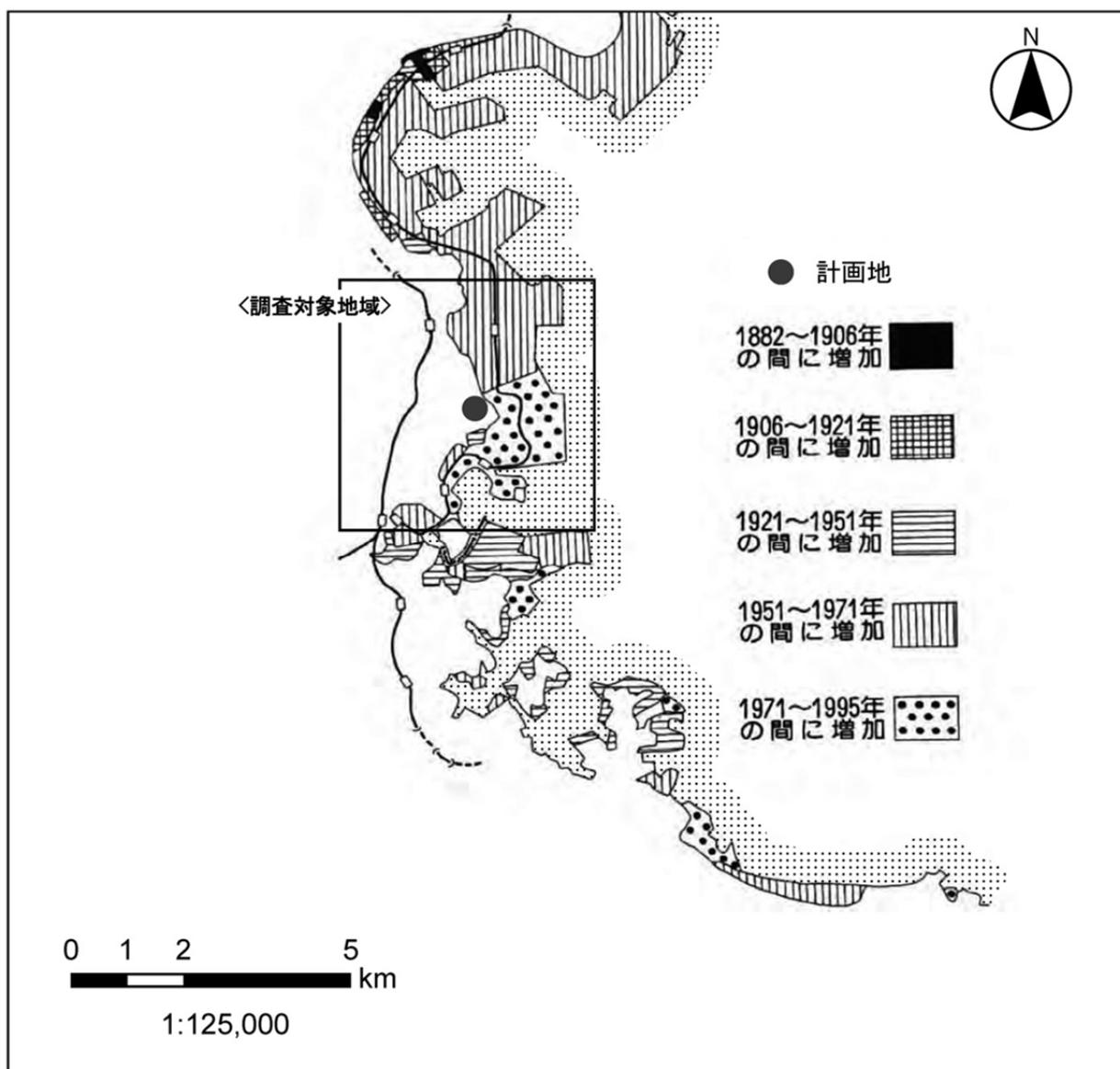
凡例

	計画地		p1 山頂緩斜面(0~3-)		n4 一般斜面(15~30-)		V2 谷底平野(3~8-)
	p2 山頂緩斜面(3~8-)		d5 急斜面(30~40-)		h1 平坦化地		Hm1 旧水面の埋立地
	p3 山頂緩斜面(8~15-)		d6 急斜面(40~)		St1 砂堆・砂州		m1 盛り地(0~3-)
	F3 山麓緩斜面(8~15-)		St1 砂堆・砂州		V1 谷底平野(0~3-)		m2 盛り地(3~8-)
	n3 一般斜面(8~15-)		V1 谷底平野(0~3-)				



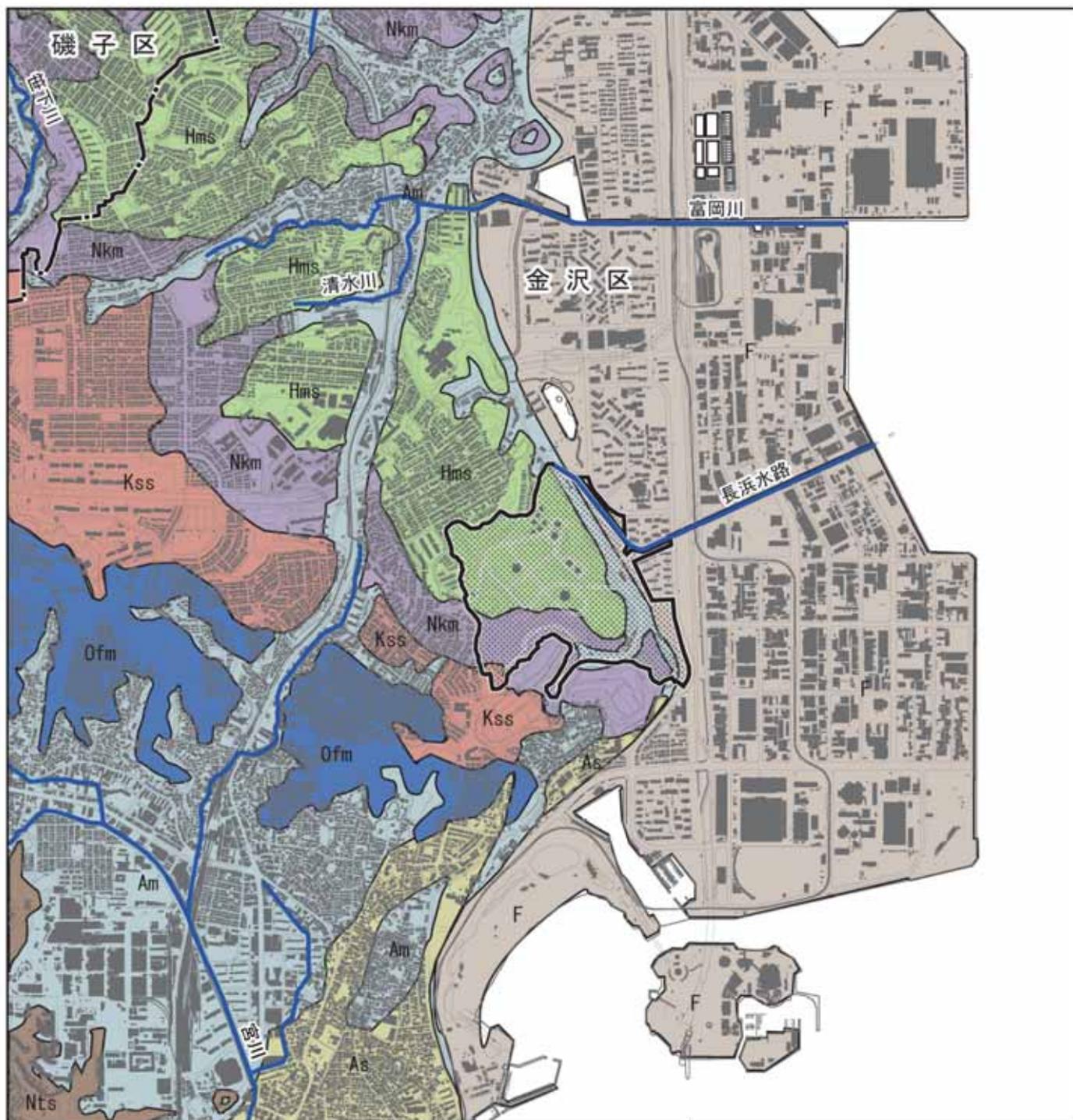
資料:「1/50,000土地分類基本調査(地形分類図)  
 横浜・東京西南部・東京東南部・木更津」(平成3年3月、神奈川県)  
 「1/50,000土地分類基本調査(地形分類図)横須賀・三崎」  
 (昭和61年3月、神奈川県)

図3.2-1 地形分類図



資料：「地図で見る横浜の変遷」（平成8年7月、財団法人日本地図センター）

図 3.2-2 計画地周辺（横浜港沿岸部）の埋立の変遷



凡例

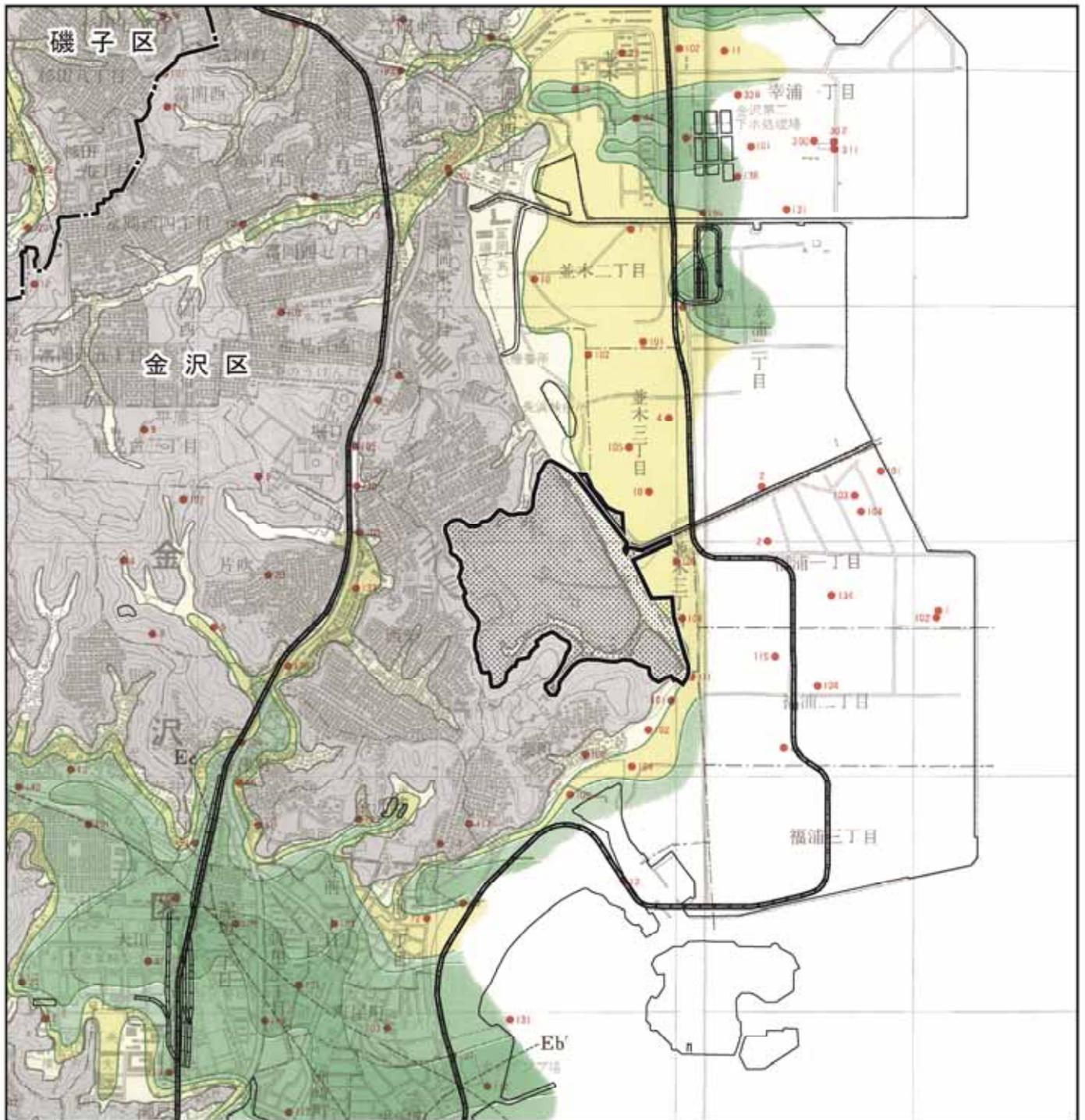
- |   |                          |   |                    |
|---|--------------------------|---|--------------------|
|  | 計画地                      |  | Hms 砂・泥細互層(浜層)     |
|  | 河川                       |  | Nkm 砂質泥岩(中里層)      |
|  | F 埋立土                    |  | Kss 凝灰質砂岩及び砂岩(小柴層) |
|  | Am 泥を主とする<br>低湿地堆積物      |  | Ofm 泥岩(大船層)        |
|  | As 砂を主とする<br>自然堤防及び砂州堆積物 |  | Nts 凝灰質砂岩及び泥岩(野島層) |

資料:「1/50,000土地分類基本調査(地形分類図)  
 横浜・東京西南部・東京東南部・木更津」(平成3年3月、神奈川県)  
 「1/50,000土地分類基本調査(地形分類図)横須賀・三崎」(昭和61年3月、神奈川県)



0 250 500 1,000  
 m  
 1:25,000

図3.2-3 表層地質図



凡例

計画地

- 0 - 5m
- 5 - 10m
- 10 - 20m
- 20 - 30m
- 30 - 40m

- ボーリング地点
- 地質断面線
- 丘陵地および台地面



0 250 500 1,000 m  
1:25,000

図3.2-4 軟弱地盤図

資料:「横浜市地盤図集」(平成8年、横浜市)

### 3.2.3 水循環の状況

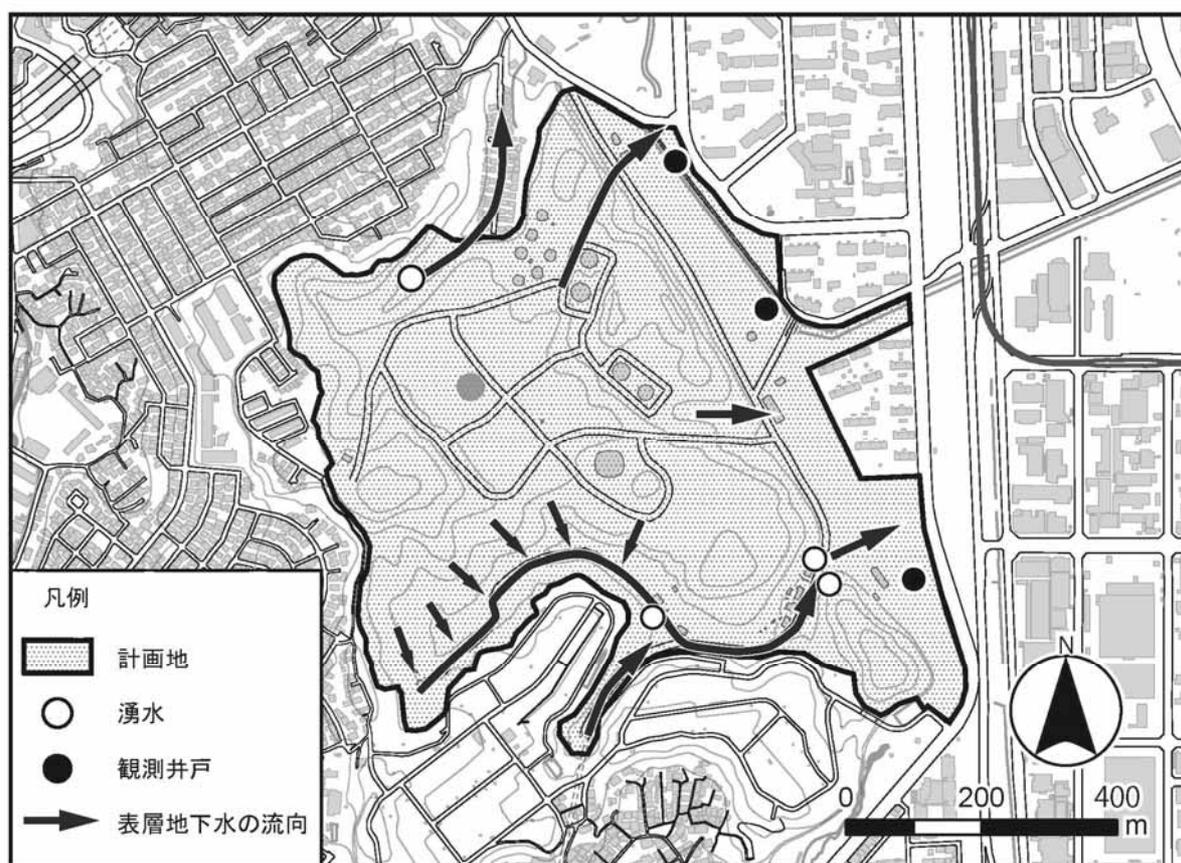
#### 1) 地下水及び湧水の状況

計画地内における地下水及び湧水の状況は図 3.2-5 に示すとおりです。

計画地の丘陵地を形成する砂・泥細互層、砂質泥岩などは、地下水の涵養に乏しい地層となります。

計画地における地下水の流向は、大局的には海岸部に向かう南東方向と考えられますが、丘陵部の表層地下水は、谷戸部に向かい斜面を流れて伏流水となり、湧水として地表に表出して表流水となることから、表流水の動向を考慮すると高い箇所から低い箇所に放射状に流れるものと考えられます。

なお、「旧小柴(19)貯油施設土壌汚染調査報告書」(平成21年3月、防衛省南関東防衛局)によると、図中の3地点の観測井戸における地下水調査結果は、土壌汚染対策法に定められた特定有害物質(25項目)は、3地点全てで同法の地下水の基準値以下となっています。



資料：「旧小柴貯油施設水文環境調査業務委託報告書」(平成20年3月、日本環境株式会社)  
「旧小柴貯油施設資料等調査報告書」(平成20年2月、防衛省南関東防衛局)  
「旧小柴(19)貯油施設土壌汚染調査報告書」(平成21年3月、防衛省南関東防衛局)  
「旧小柴(21)貯油施設土壌汚染調査報告書」(平成22年3月、防衛省南関東防衛局)

図 3.2-5 地下水及び湧水の状況

## 2) 河川の状況

調査対象地域における河川の状況は、表 3.2-2 及び図 3.2-6 に示すとおりです。

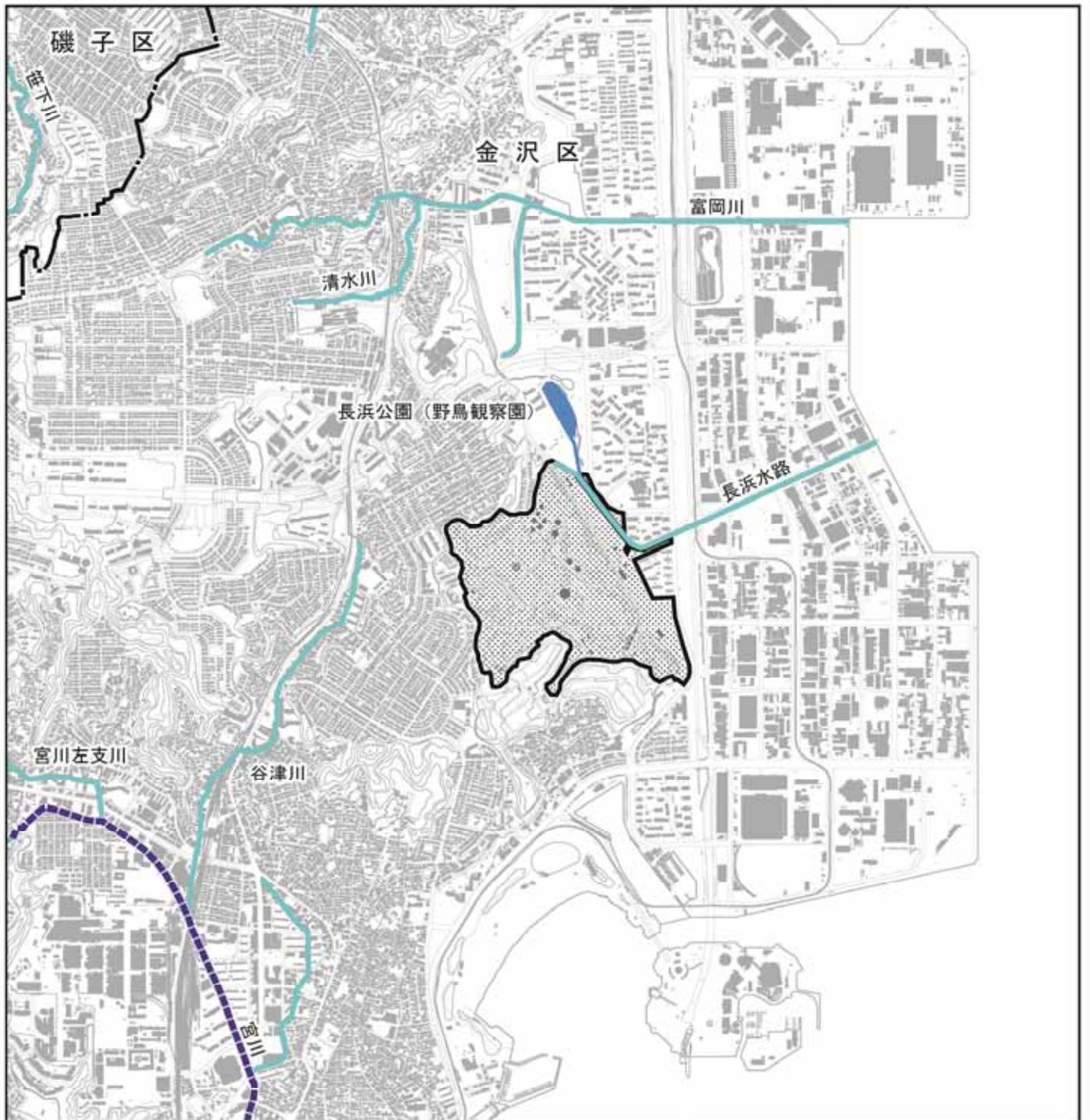
計画地の東側には、かつて小柴貯油施設と米軍制限水域を結ぶパイプラインが敷設されていた長浜水路があります。この水路は、計画地を通過して長浜公園（野鳥観察園）と東京湾を結んでいます。

また、調査対象地域の南西側には、二級河川の宮川が流れ、谷津川などの支流が合流して流域を形成しています。

表 3.2-2 河川の状況

河川区分	水系名	河川名	延長 (m)	流域面積 (km <sup>2</sup> )
二級河川	宮川	宮川	2,040	7.98

資料：「横浜市 河川の概要」（横浜市道路局河川計画課ホームページ、平成28年10月調べ）



凡例

-  計画地
-  二級河川
-  普通河川(一級河川、二級河川及び準用河川以外の河川)
-  長浜公園(野鳥観察園)汽水池



0 250 500 1,000  
m

1:25,000

資料:「国土数値情報(河川データ)」  
(国土交通省、平成28年10月調べ)

図3.2-6 河川図

### 3.2.4 植物、動物の状況

#### 1) 植物

調査対象地域の大部分は開発された住宅地と埋立地であり、「神奈川県レッドデータ生物調査報告書 2006」（平成 18 年、神奈川県立生命の星・地球博物館）に記載された神奈川県のレッドデータ植物群落（群落複合<sup>1</sup>）や、「自然環境保全基礎調査」（平成 12 年、環境省）により選定された「特定植物群落」は存在しません。一方で、横浜市の名木古木保存事業における名木古木（情報公開されている樹木に限る）が 33 本存在しています。これら名木古木は、神社や寺の敷地内で保全されています。

調査対象地域における名木古木の分布状況は表 3.2-3 及び図 3.2-7 に示すとおりです。

また、調査対象地域における現存植生図は図 3.2-8 に示すとおりです。

調査対象地域は大部分が市街地として開発されていますが、計画地周辺には緑地や社寺林として保全されている地域があります。現在、計画地の植生は、主にオニシバリーコナラ群集<sup>2</sup>等により構成されています。

なお、調査対象地域における潜在自然植生図は図 3.2-9 に示すとおりです。

潜在自然植生とは、現存の植生に加えられている人間の影響を一切停止した場合に、理論的にその立地に成立すると判定される自然植生を図化したものです。調査対象地域においては、埋立地を除くほとんどの範囲で常緑・落葉広葉樹林が成立するとされており、その中で計画地ではヤブコウジースタジイ群集・典型亜群集<sup>3</sup>が成立するとされています。

計画地では、小柴貯油施設跡地利用の検討のため、過去に動植物調査が行われています。調査によれば、計画地では植物の注目すべき種<sup>\*</sup>として表 3.2-4 に示す種が確認されていますが、文化財保護法や絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律（以下「種の保存法」という。）に位置づけられている種は確認されていません。

調査によって作成された、計画地の現存植生図は図 3.2-10 に示すとおりです。計画地は図 3.2-8 で示した植生図と同様に、コナラ群落<sup>4</sup>が主体となっています。

#### 2) 動物

調査対象地域には、「神奈川県レッドデータ生物調査報告書 2006」に記載された、神奈川県における絶滅のおそれのある地域個体群<sup>5</sup>の指定はありません。

計画地で実施された過去の動植物調査によれば、動物の注目すべき種<sup>\*</sup>として表 3.2-5 に示す種が確認されています。このうち、オオタカ、ハヤブサ等の猛禽類については上空における飛翔の目視にとどまり、営巣は確認されていません。また、その他の文化財保護法や種の保存法に位置づけられている種は確認されていません。

<sup>1</sup> 群落複合：複数の群落相互に関連しあっており、全体を保護することなくして個々の植物群落を保護することができない場合、複数の群落を「群落複合」として一つの範囲を設定するものです。

<sup>2</sup> オニシバリーコナラ群集：関東、近畿、四国の沿海部に分布する落葉広葉樹の二次林。コナラ、クヌギが優占し、ミズキ、カラスザンショウ、アカメガシワ等が混生します。神奈川県内では普通に見られる群集です。

<sup>3</sup> ヤブコウジースタジイ群集・典型亜群集：常緑広葉樹の自然林。一般に高木層はスタジイが優占しますが、斜面上部等の乾性立地でウラジロガシ、アカガシ等が混生することがあります。本州及び九州の山地下部や丘陵地に分布します。

<sup>4</sup> コナラ群落：高木層をコナラが優占する落葉林。薪炭林として利用されてきたいわゆる雑木林の一種です。神奈川県内では普通に見られる群落です。

<sup>5</sup> 絶滅のおそれのある地域個体群：地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いものをいいます。

※「注目すべき種」：ここでは、法律（文化財保護法、種の保存法）、「絶滅のおそれのある野生動物の種のリスト」（平成 18・19 年、環境省）（以下、レッドリストという。）、文献（横浜のレッドデータ植物目録（神奈川県立生命の星・地球博物館））の掲載種としています。

表 3.2-3 名木古木一覧表

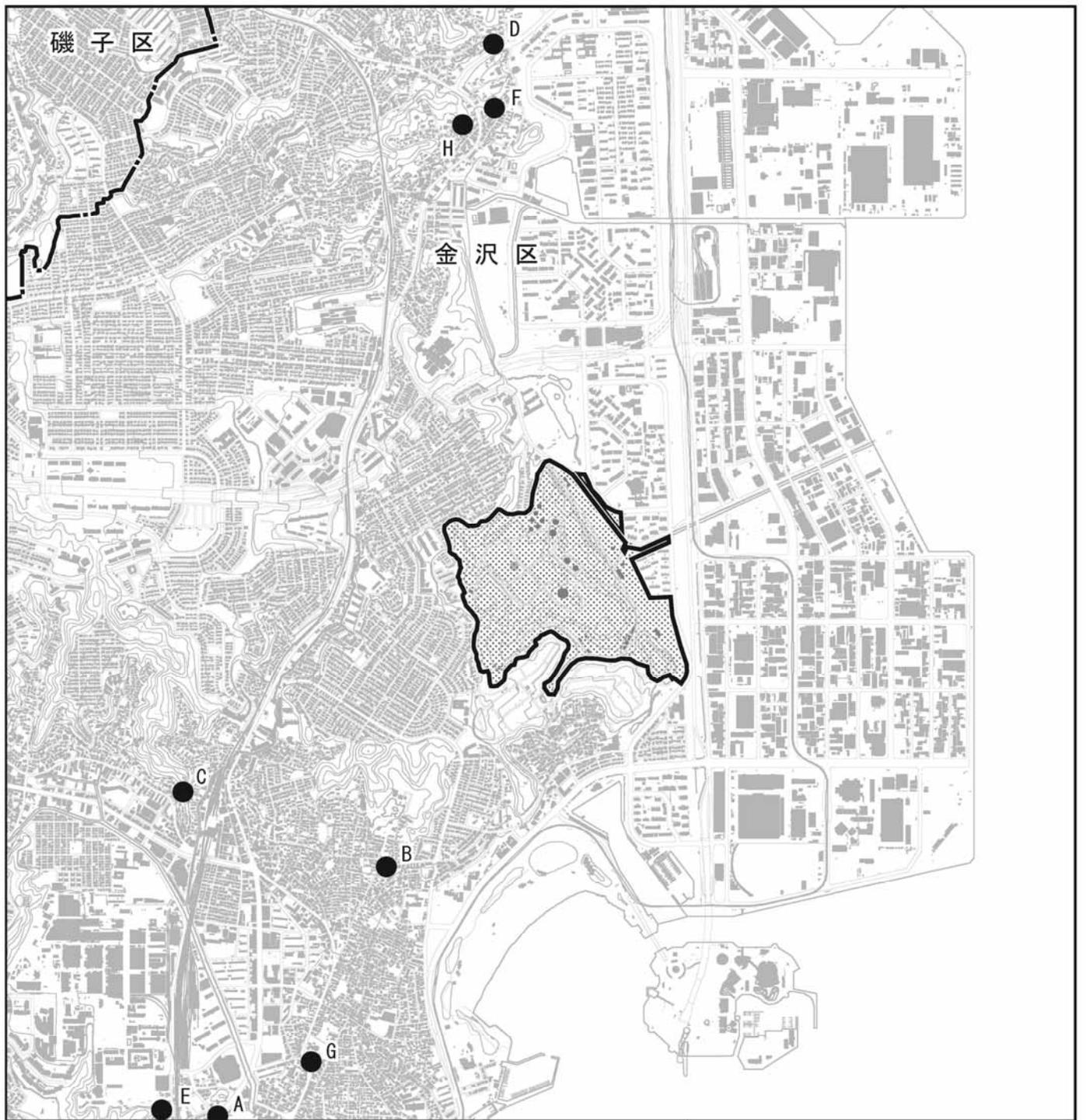
No.	図中記号	所在地	目標	樹種	樹齡(年)	樹高(m)	目通り周(m)
1	A	瀬戸18-14	瀬戸神社	カヤ	750	25.0	5.1
2	A	瀬戸18-14	瀬戸神社	イチョウ	240	12.0	3.0
3	A	瀬戸18-14	瀬戸神社	ケヤキ	190	20.0	2.5
4	A	瀬戸18-14	瀬戸神社	イヌマキ	190	12.0	1.8
5	A	瀬戸18-14	瀬戸神社	クスノキ	240	12.0	2.9
6	A	瀬戸4507-1(瀬戸18-14)	瀬戸神社	イヌマキ	180	15.0	1.5
7	B	金沢町212	称名寺	イチョウ	550	23.0	2.7
8	B	金沢町212	称名寺	イチョウ	550	30.0	3.0
9	B	金沢町212	称名寺	イチョウ	550	18.0	3.4
10	B	金沢町212	称名寺	イチョウ	550	25.0	3.5
11	B	金沢町212	称名寺	ケヤキ	350	27.0	3.4
12	B	金沢町212	称名寺	マキ	450	15.0	2.2
13	B	金沢町212	称名寺	タブノキ	330	15.0	2.8
14	B	金沢町212	称名寺	タブノキ	330	20.0	3.0
15	B	金沢町212	称名寺	ケヤキ	180	15.0	2.8
16	B	金沢町212	称名寺	ケヤキ	180	18.0	2.8
17	B	金沢町212	称名寺	カヤ	280	20.0	2.7
18	B	金沢町212	称名寺	カヤ	280	20.0	2.6
19	C	谷津町432	谷津浅間神社	ヤマモモ	240	10.0	2.0
20	C	谷津町432	谷津浅間神社	タブノキ	290	12.0	2.5
21	C	谷津町432	谷津浅間神社	アカガシ	289	12.0	2.2
22	C	谷津町432	谷津浅間神社	ヤマザクラ	160	10.0	2.7
23	D	富岡東三丁目23-21	長昌寺	ビャクシン	710	6.0	2.0
24	D	富岡東三丁目23-21	長昌寺	カヤ	610	25.0	3.2
25	D	富岡東三丁目23-21	長昌寺	ケヤキ	510	15.0	2.9
26	D	富岡東三丁目23-21	長昌寺	ケヤキ	510	15.0	2.7
27	D	富岡東三丁目23-21	長昌寺	ケヤキ	510	15.0	1.8
28	E	瀬戸22-4	—	ヤエザクラ	110	8.0	2.2
29	F	富岡東四丁目81-1	—	タブノキ	不明	15.0	3.0
30	G	洲崎町9-31	龍華寺	クスノキ	150	16.0	2.5
31	G	洲崎町9-31	龍華寺	クロマツ	100	4.5	0.9
32	G	洲崎町9-31	龍華寺	クロマツ	150	4.0	1.0
33	G	洲崎町9-31	龍華寺	ソテツ	200	2.5	—
34	G	洲崎町9-31	龍華寺	ウメ	120	8.0	1.1
35	H	富岡東5-1888(富岡東5-8-19)	宝珠院	イチョウ	250	15.0	2.7
36	H	富岡東5-1888(富岡東5-8-19)	宝珠院	サクラ	150	12.0	3.8

注 1) 平成 28 年 4 月現在

注 2) 表中の「図中記号」は、図 3.2-7 に対応します。

資料：「名木古木指定樹木一覧」

(横浜市環境創造局みどりアップ推進部みどりアップ推進課ホームページ、平成 28 年 10 月調べ)



凡例

 計画地

 名木古木

※図中の記号は表3.2-3に対応します。

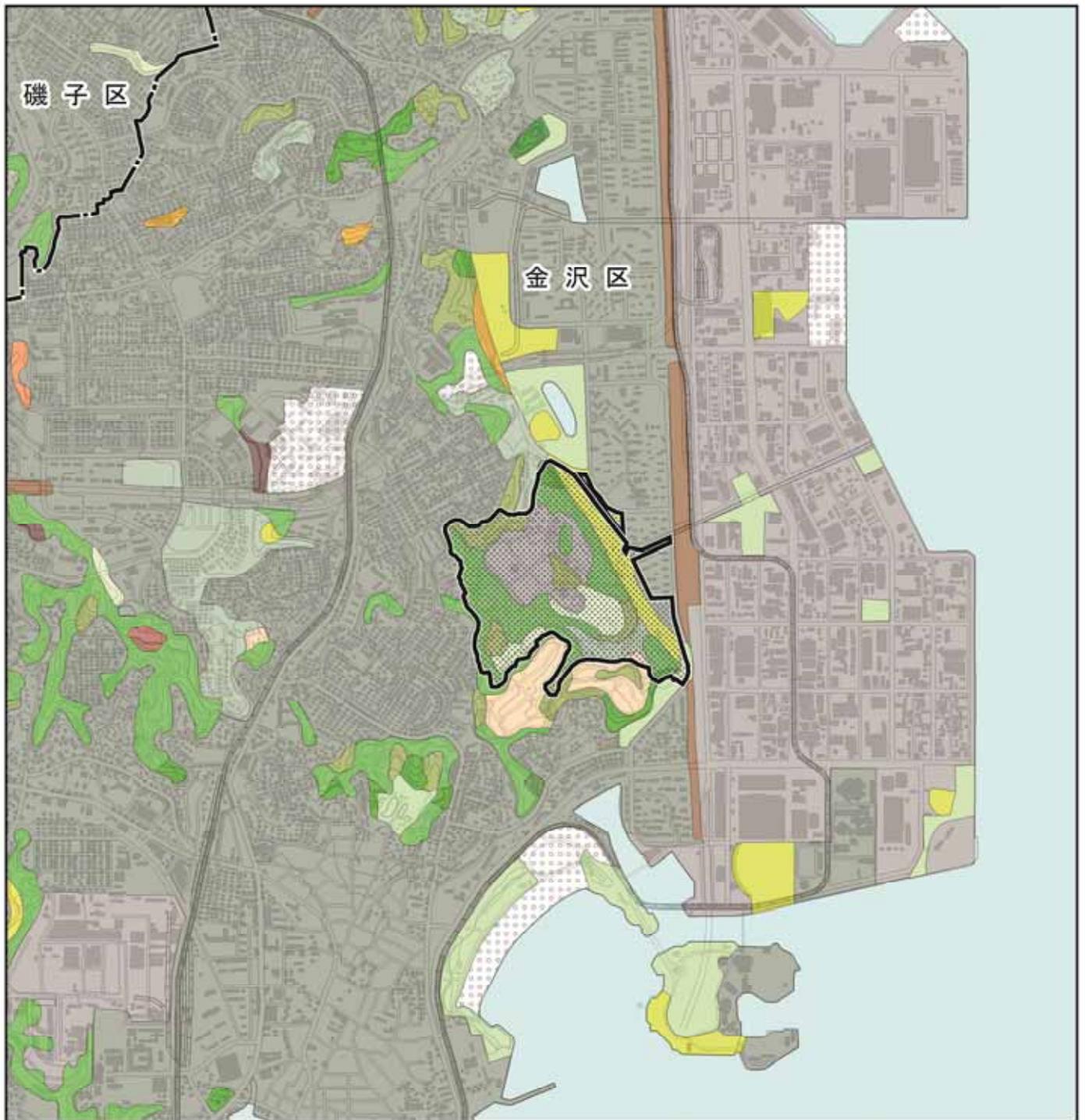


0 250 500 1,000  
m

1:25,000

資料:「名木古木指定樹木一覧」  
(横浜市環境創造局みどりアップ推進部みどりアップ推進課ホームページ、  
平成28年10月調べ)

図3.2-7 名木古木



凡例

- |                   |           |                   |
|-------------------|-----------|-------------------|
| 計画地               | 低木群落      | 市街地               |
| ホソバカナワラビースダジイ群落   | クロマツ植林    | 緑の多い住宅地           |
| イノデータブノキ群落        | その他植林     | 残存・植栽樹群をもった公園、基地等 |
| アカマツ群落(VI)        | 竹林        | 工場地帯              |
| シイ・カシ二次林          | ゴルフ場・芝地   | 造成地               |
| コナラ群落(VII)        | 牧草地       | 開放水域              |
| オニシバリーコナラ群落       | 路傍・空地雑草群落 |                   |
| アカメガシワーカラスザンショウ群落 | 畑雑草群落     |                   |

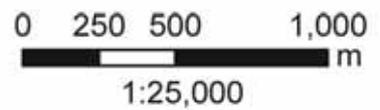


図3.2-8 現存植生図

資料：「1/25,000植生図(本牧、横須賀、戸塚、鎌倉)」  
(平成17年、環境省生物多様性センター)



凡例

- |   |   |
|---|---|
|  計画地                             |  7 マサキトベラ群集                        |
|  1 ヤブコウジ-スタシイ群集-典型亜群集            |  17 ハンキ群落                          |
|  3 ヤブコウジ-スタシイ群集<br>(表層土が復元された場合) |  24 ウラキラス他(塩沼地植生)                  |
|  4 ホソバカナワビ-スタシイ群集                |  29 ウキササラス及びヒルムシロラス<br>(開放地水域植物群落) |
|  5 イナダクワ群集-典型亜群集                 |  37 オニスケ-コウゾ群落                     |
|  6 イナダクワ群集-ケヤキ亜群集                |  47 開放水域                           |

資料:「神奈川県潜在自然植生図(本牧、横須賀、戸塚、鎌倉)」  
(昭和50年、神奈川県教育委員会)



0 250 500 1,000  
m  
1:25,000

図3.2-9 潜在自然植生図



表 3.2-5 動物調査確認種（注目すべき種）

根拠法令等	文化財保護法	種の保存法	レッドリスト					神奈川県レッドデータブック												
			絶滅危惧 A 類	絶滅危惧 B 類	絶滅危惧 類	準絶滅危惧	情報不足	絶滅危惧 類	絶滅危惧 A 類	絶滅危惧 B 類	準絶滅危惧	減少種	希少種	要注意種	注目種	情報不足	情報不足 A	情報不足 B	不明種	
分類	特別天然記念物	天然記念物	国内希少野生動物種																	
鳥類 (19種)	ハヤブサ																			
	オオタカ																			
	サシバ																			
	ミサゴ																			
	ハイタカ																			
	オオヨシキリ																			
	アオジ																			
	ヤブサメ																			
	オオルリ																			
	フクロウ																			
	アカハラ																			
	セッカ																			
	ツバメ																			
	ヒメアマツバメ																			
	コシアカツバメ																			
	カワラヒワ																			
モズ																				
ノスリ																				
アオバト																				
陸上昆虫類 (8種)	オビモンコムシギワゴミムシ																			
	ヘイケボタル成虫																			
	クロケシタマムシ																			
	ヤマトタマムシ																			
	ケラ																			
	ショウリョウバッタモドキ																			
	ヤブガラシゲンバイ																			
ミナミトゲヘリカメムシ																				
両生類(1種)	ニホンヒキガエル																			
は虫類 (3種)	アオダイショウ																			
	トカゲ																			
	マムシ																			
水生生物 (2種)	メダカ																			
	ヘイケボタル幼虫																			

※ ほ乳類は注目すべき種が確認されていません。  
 ※ メダカは、人為的に移入された可能性があります。  
 ※ ▲：繁殖期に確認、△：非繁殖期に確認。（鳥類のみ、神奈川県レッドデータの分類方法によります）  
 神奈川県レッドデータでは、鳥類のみ、繁殖期・非繁殖期で注目すべき種区分が異なります（鳥類は広範囲の地域を移動し、時期によって生息場所を変えるため、繁殖期に繁殖のために利用している場合と、非繁殖期に越冬、移動途中の中継地として利用している場合に分けて評価しています）。  
 本表では現地調査で確認された時期で表示しています。  
 資料：「旧小柴貯油施設動植物調査業務委託報告書」（平成 20 年 3 月、横浜市都市経営局基地対策課）

### 3) 農地

調査対象地域を含む金沢区、磯子区における自然的土地利用は、表 3.2-6 及び図 3.2-11 に示すとおりです。調査対象地域内の農地は、計画地の南側に隣接し、市民農園（柴シーサイドファーム）として利用されています。

表 3.2-6 自然的土地利用面積

項 目	面積 (ha)	
	磯子区	金沢区
農地	23	36
山林	186	486
河川・水路・水面	18	20
荒地・海浜・法面等	17	31

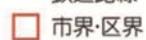
資料：「横浜市土地利用のあらまし」（平成 25 年 3 月、横浜市建築局企画部都市計画課）



凡例

 計画地

-  農地
-  山林
-  河川・水路・水面
-  荒地・海浜・法面等
-  道路用地
-  その他

-  鉄道路線
-  市界・区界



0 250 500 1,000  
m  
1:25,000

資料:「横浜市土地利用のあらまし」  
(平成25年3月、横浜市建築局企画部都市計画課)

図3. 2-11 自然的土地利用

### 3.2.5 人口、産業の状況

#### 1) 人口

横浜市及び調査対象地域を含む金沢区、磯子区における人口の状況は、表 3.2-7 及び表 3.2-8 に示すとおりです。

平成 26 年 10 月 1 日現在の横浜市の人口は、3,710,008 人、一世帯当たりの人口は 2.27 人、人口密度は 8,525 人/km<sup>2</sup> となっています。計画地のある金沢区では、人口が 203,661 人、世帯数が 87,797 世帯で、一世帯当たりの人口が 2.32 人、人口密度が 6,638 人/km<sup>2</sup> となっています。

平成 21 年から平成 26 年の人口等の推移を見ると、横浜市全体では、人口、世帯数ともに増加傾向にあります。計画地のある金沢区の人口は、徐々に減少しています。

表 3.2-7 人口等の現況

行政区	面積 (km <sup>2</sup> )	世帯数 (世帯)	人口 (人)	一世帯あたり人口 (人/世帯)	人口密度 (人/1 km <sup>2</sup> )
横浜市	435.21	1,631,395	3,710,008	2.27	8,525
磯子区	19.02	72,661	163,249	2.25	8,583
金沢区	30.68	87,797	203,661	2.32	6,638

注) 平成 26 年 10 月 1 日現在

資料：「横浜市統計書[web 版]」（横浜市政策局総務部統計情報課ホームページ、平成 28 年 10 月調べ）

表 3.2-8 人口等の推移

行政区分		平成 21 年	平成 22 年	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年
横浜市	人口 (人)	3,671,776	3,688,773	3,691,693	3,697,006	3,702,551	3,710,008
	世帯数 (世帯)	1,577,579	1,583,889	1,594,871	1,606,472	1,617,839	1,631,395
磯子区	人口 (人)	163,669	163,237	162,220	162,115	161,861	163,249
	世帯数 (世帯)	71,565	71,169	71,211	71,393	71,585	72,661
金沢区	人口 (人)	210,113	209,274	208,033	206,694	204,851	203,661
	世帯数 (世帯)	86,970	86,773	86,987	87,347	87,384	87,797

注) 各年 10 月 1 日現在

資料：「横浜市統計書[web 版]」（横浜市政策局総務部統計情報課ホームページ、平成 28 年 10 月調べ）

#### 2) 産業

横浜市及び調査対象地域を含む金沢区、磯子区の産業大分類別事業所数及び従業者数は、表 3.2-9 に示すとおりです。また、農業、工業、商業の生産状況は表 3.2-10～表 3.2-12 に示すとおりです。

横浜市合計で、事業所数、従業者数とも最も多いのは卸売業、小売業となっています。

また、計画地のある金沢区で事業所数が最も多いのは卸売業、小売業ですが、従業者数が最も多いのは製造業となっています。

表 3.2-9 産業大分類別事業所数及び従業者数

(単位：事業所数・事業所、従業者数・人)

分類		横浜市		
		市合計	磯子区	金沢区
全産業（公務を除く）	事業所数	114,454	4,130	5,389
	従業者数	1,428,600	46,919	76,058
農業、林業	事業所数	139	3	9
	従業者数	1,506	25	142
漁業	事業所数	—	—	—
	従業者数	—	—	—
農業、林業、漁業 間格付不能	事業所数	1	—	—
	従業者数	8	—	—
鉱業、採石業、砂利採取業	事業所数	1	—	—
	従業者数	1	—	—
建設業	事業所数	11,256	439	407
	従業者数	94,943	3,913	3,200
製造業	事業所数	6,873	182	445
	従業者数	143,322	7,142	16,397
電気・ガス・熱供給・水道業	事業所数	57	4	6
	従業者数	4,157	315	112
情報通信業	事業所数	2,106	48	59
	従業者数	62,059	791	455
運輸業、郵便業	事業所数	3,119	110	210
	従業者数	88,421	4,425	5,980
卸売業、小売業	事業所数	27,356	913	1,395
	従業者数	291,383	8,043	14,716
金融業、保険業	事業所数	1,726	48	60
	従業者数	36,859	500	717
不動産業、物品賃貸業	事業所数	10,957	414	512
	従業者数	50,485	1,267	2,080
学術研究、専門・技術サービス業	事業所数	5,978	197	209
	従業者数	60,393	3,829	2,399
宿泊業、飲食サービス業	事業所数	14,405	547	555
	従業者数	143,869	3,736	5,158
生活関連サービス業、娯楽業	事業所数	9,513	395	475
	従業者数	65,280	2,174	2,901
教育、学習支援業	事業所数	4,103	146	205
	従業者数	55,219	1,340	4,762
医療、福祉	事業所数	9,800	412	517
	従業者数	181,493	6,223	11,450
複合サービス事業	事業所数	413	18	34
	従業者数	5,437	195	328
サービス業（他に分類されないもの）	事業所数	6,651	254	291
	従業者数	143,765	3,001	5,261

注) 平成 24 年 2 月 1 日現在

資料：「横浜市統計書[web 版]」（横浜市政策局総務部統計情報課ホームページ、平成 28 年 10 月調べ）

表 3.2-10 農業の状況

行政区分	農家数 (戸)			経営耕地面積 (アール)
	総数	販売農家	自給的農家	
横浜市	4,202	2,430	1,772	220,259
磯子区	36	20	16	889
金沢区	73	31	42	1,648

注) 平成 22 年 2 月 1 日現在

資料 : 「横浜市統計書[web 版]」 (横浜市政策局総務部統計情報課ホームページ、平成 28 年 10 月調べ)

表 3.2-11 工業の状況

行政区分	事業所数 (事業所)	従業者数 (人)	製造品出荷額 (万円)	付加価値額 (万円)
横浜市	2,479	90,600	433,296,113	97,579,608
磯子区	73	5,745	166,255,803	7,971,213
金沢区	245	14,085	45,899,202	15,208,115

注) 平成 26 年現在

資料 : 「横浜市統計書[web 版]」 (横浜市政策局総務部統計情報課ホームページ、平成 28 年 10 月調べ)

表 3.2-12 商業の状況

行政区分	事業所数 (事業所)	従業者数 (人)	年間商品販売数 (万円)	売場面積 (㎡)
横浜市	26,032	248,612	978,824,933	2,881,304
磯子区	948	7,551	18,285,833	91,037
金沢区	1,381	13,870	53,168,509	152,435

注) 平成 19 年 7 月 1 日現在

資料 : 「横浜市統計書[web 版]」 (横浜市政策局総務部統計情報課ホームページ、平成 28 年 10 月調べ)

### 3.2.6 土地利用状況

調査対象地域を含む金沢区、磯子区の区域区分及び用途地域の指定状況は、表 3.2-13 及び図 3.2-12 に示すとおりです。

横浜市の総面積は 435.8km<sup>2</sup>であり、市街化区域は 331.2km<sup>2</sup>、市街化調整区域が 104.6km<sup>2</sup>となっています。用途地域は住居系が 245.1km<sup>2</sup>、商業系が 33.4km<sup>2</sup>、工業系が 52.5km<sup>2</sup>となっています。

計画地のある金沢区の総面積は 30.7km<sup>2</sup>であり、市街化区域が 26.0km<sup>2</sup>、市街化調整区域が 4.7km<sup>2</sup>となっています。用途地域は、住居系が 17.7km<sup>2</sup>、商業系が 1.1km<sup>2</sup>、工業系が 7.3km<sup>2</sup>となっています。

計画地は、市街化区域（用途地域は主に工業専用地域）及び市街化調整区域となっています。また、計画地の大半が風致地区（富岡・長浜風致地区[第3種]）に指定されています。

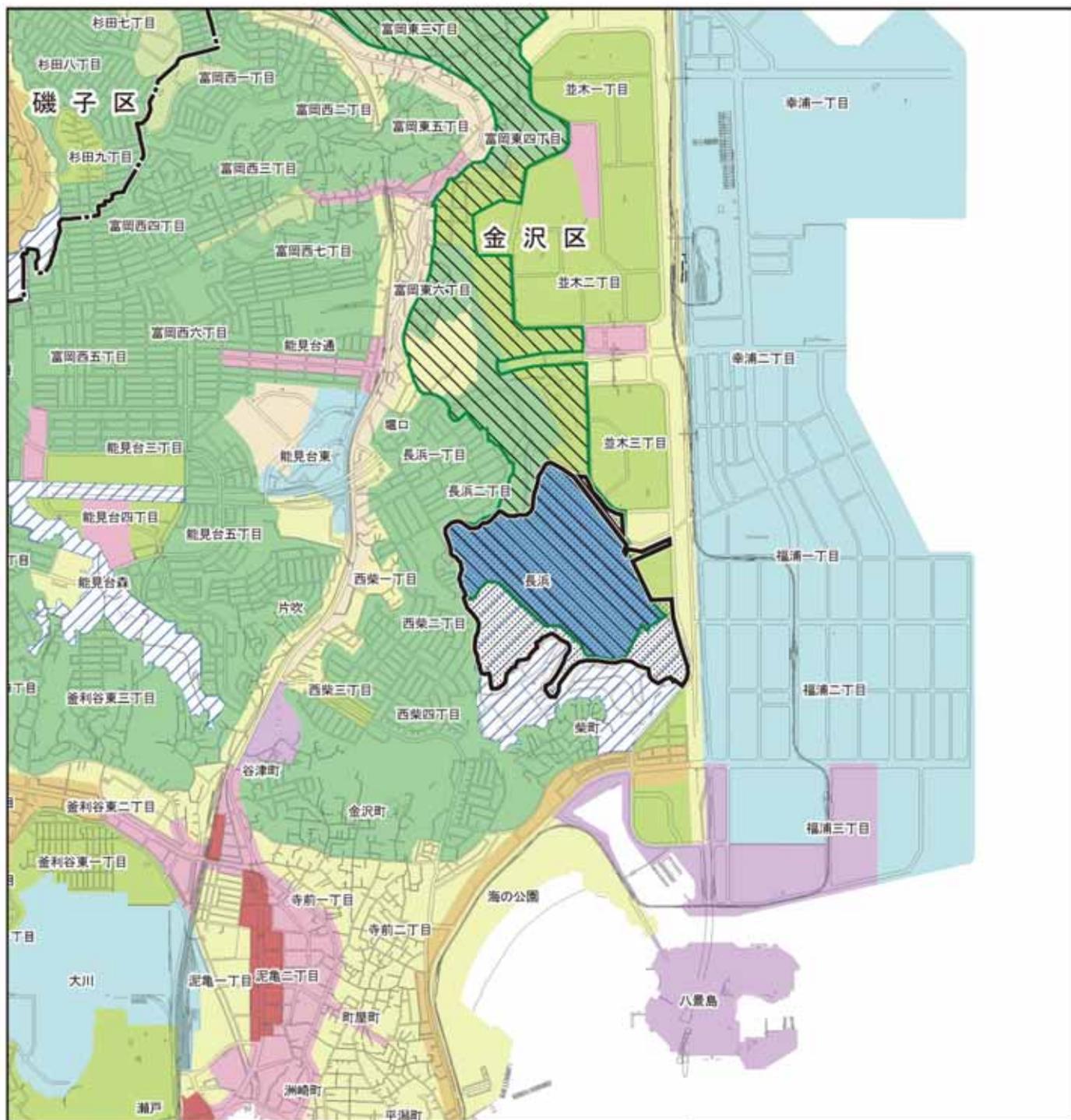
表3.2-13 区域区分及び用途地域

(単位：km<sup>2</sup>)

行政区分		横浜市	磯子区	金沢区	
計都 画市 地	総面積	435.8	19.0	30.7	
	区域 区分	市街化区域	331.2	16.6	26.0
		市街化調整区域	104.6	2.4	4.7
用途 地域	総面積	330.9	16.8	26.0	
	住居系	第一種低層住居専用地域	135.3	5.8	10.3
		第二種低層住居専用地域	1.7	—	—
		第一種中高層住居専用地域	26.3	1.7	2.6
		第二種中高層住居専用地域	17.5	0.3	0.2
		第一種住居地域	44.6	2.5	3.5
		第二種住居地域	5.3	0.3	0.5
		準住居地域	14.4	0.6	0.6
		小計	245.1	11.2	17.7
	商業系	近隣商業地域	14.2	1.2	1.0
		商業地域	19.2	0.3	0.1
		小計	33.4	1.5	1.1
	工業系	準工業地域	17.3	0.2	0.9
		工業地域	16.9	0.4	5.4
		工業専用地域	18.3	3.6	1.0
		小計	52.5	4.2	7.3

注) 平成 26 年度末現在

資料：「横浜市統計書[web 版]」（横浜市政策局総務部統計情報課ホームページ、平成28年10月調べ）



凡例

- |  |   |
|--|---|
|  計画地          |  単住居地域   |
|  第一種低層住居専用地域  |  近隣商業地域  |
|  第二種低層住居専用地域  |  商業地域    |
|  第一種中高層住居専用地域 |  順工業地域   |
|  第二種中高層住居専用地域 |  工業地域    |
|  第一種住居地域      |  工業専用地域  |
|  第二種住居地域      |  市街化調整区域 |
|  |  風致地区    |

資料：「用途地域図」  
(横浜市建築局都市計画課、平成28年10月調べ)



0 250 500 1,000  
m

1:25,000

図3.2-12 用途地域図

### 3.2.7 交通、運輸の状況

#### 1) 道路交通

調査対象地域の主要道路の状況は、図 3.2-13 に示すとおりです。また、交通量の状況は、表 3.2-14 に示すとおりです。

調査対象地域を通る主要道路の交通量は、平成 17 年度から平成 22 年度にかけて、同一路線では減少傾向であることが推定されます。計画地近傍の主要道路は、計画地の北東約 500 m に位置する幸浦出入口を終点とする首都高速湾岸線、計画地の北側を通る横浜横須賀道路、計画地の西側を通る一般国道 16 号、計画地の東側を通る一般国道 357 号等があります。車による計画地へのアクセスは、首都高速湾岸線の幸浦出入口、横浜横須賀道路の堀口能見台インターチェンジと並木インターチェンジを利用するルートが考えられます。

また、調査対象地域におけるバス路線は、図 3.2-14 に示すとおりです。

計画地周辺には、横浜市営バス、京急バスが運行しています。

表 3.2-14 交通量の状況（平日 12 時間）

路線名	観測地点		平成 17 年度				平成 22 年度			
			小型車 (台)	大型車 (台)	合計 (台)	大型車 混入率 (%)	小型車 (台)	大型車 (台)	合計 (台)	大型車 混入率 (%)
首都高速湾岸線 (県道 294 号)	1	金沢区幸浦 一丁目	—	—	—	—	20,214	2,451	22,665	10.8
	2	金沢区並木 二丁目	—	—	—	—	10,041	1,005	11,046	9.1
	—	金沢区鳥浜町	24,584	9,698	34,282	28.3	—	—	—	—
横浜横須賀道路 (一般国道 16 号)	3	釜利谷 JCT~ 堀口能見台 IC	18,381	3,359	21,740	15.5	15,959	4,686	20,645	22.7
	4	堀口能見台 IC~ 並木 IC	16,092	3,145	19,237	16.3	13,282	4,294	17,576	24.4
一般国道 16 号	—	磯子区杉田 5-18	—	—	—	—	12,359	2,543	14,902	17.1
	5	金沢区堀口 88	14,882	1,529	16,411	9.3	—	—	—	—
一般国道 357 号	—	磯子区杉田 5-22	—	—	—	—	16,459	9,040	25,499	35.5
	—	金沢区鳥浜 17	22,578	11,782	34,360	34.3	—	—	—	—
柴線(柴町第 213 号線)	6	金沢区海の公園	12,914	3,409	16,323	20.9	—	—	—	—
泥亀釜利谷線	7	金沢区平潟町 16-22	9,729	2,408	12,137	19.8	—	—	—	—

注 1) 表中の観測地点の番号は図 3.2-13 に対応します。

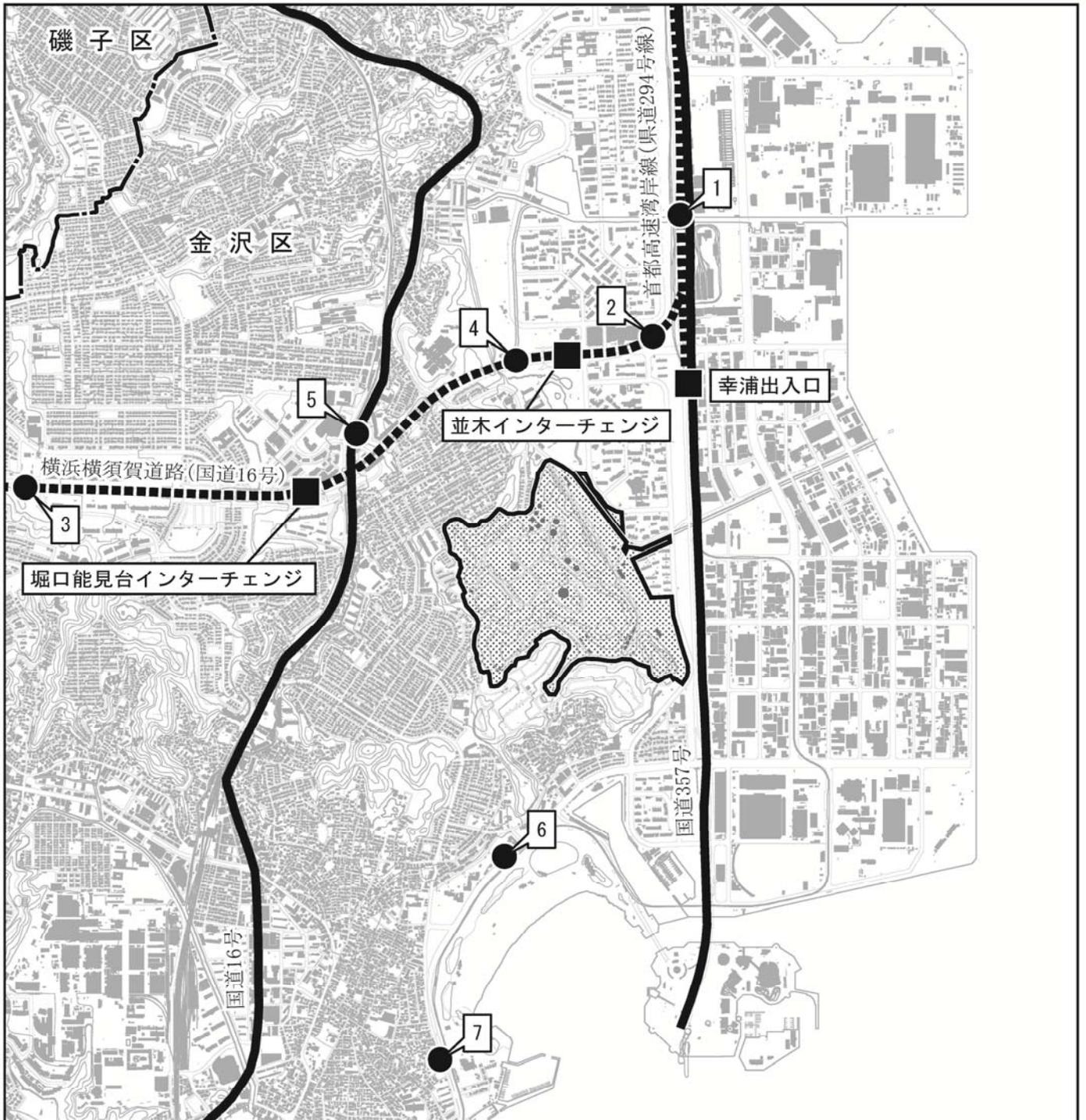
注 2) 交通量は、昼間（午前 7 時～午後 7 時）の 12 時間交通量を示しています。

注 3) 一般国道 357 号の交通量観測地点は調査対象地域内にないため、近傍観測地点のデータを記載しています。

資料：「平成 22 年度道路交通情勢調査結果」

「平成 17 年度道路交通情勢調査結果」

(神奈川県県土整備局道路部道路管理課ホームページ、平成 28 年 10 月調べ)



凡例

- 計画地
- 自動車専用道路
- インターチェンジ又は出入口
- 一般国道
- 交通量観測地点

※図中のNo.は表3.2-14に対応します。

資料:「平成22年度道路交通情勢調査結果」  
 「平成17年度道路交通情勢調査結果」  
 (神奈川県県土整備局道路部ホームページ、平成28年10月調べ)

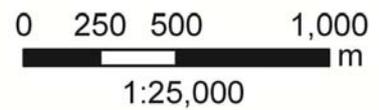


図3.2-13 主要道路及び  
交通量調査地点

# 区内の主なバスルート



調査対象地域

凡例	
<span style="color: blue;">—</span>	横浜市営バス(横浜交通開発(株))
<span style="color: red;">—</span>	京急バス
<span style="color: green;">—</span>	神奈川中央
<span style="color: orange;">—</span>	大新東バス

資料：「金沢区区民生活マップ（バスルート図）」（平成 25 年発行、横浜市）

図 3.2-14 バス路線

## 2) 鉄道・軌道

調査対象地域の鉄道・軌道網の状況は、図 3.2-15 に示すとおりです。

調査対象地域には、京浜急行本線及び金沢シーサイドラインがあり、駅及び乗車人数は、表 3.2-15 に示すとおりです。

計画地は京浜急行本線と金沢シーサイドラインの間に位置し、最寄りの駅は、京浜急行本線の場合は能見台駅、金沢シーサイドラインの場合は幸浦駅及び産業振興センター駅となっています。

1日当たりの乗車人数は平成27年度時点では、能見台駅は15,444人、幸浦駅は2,794人、産業振興センター駅は2,112人となっており、平成23年度に比べいずれの駅も増加しています。

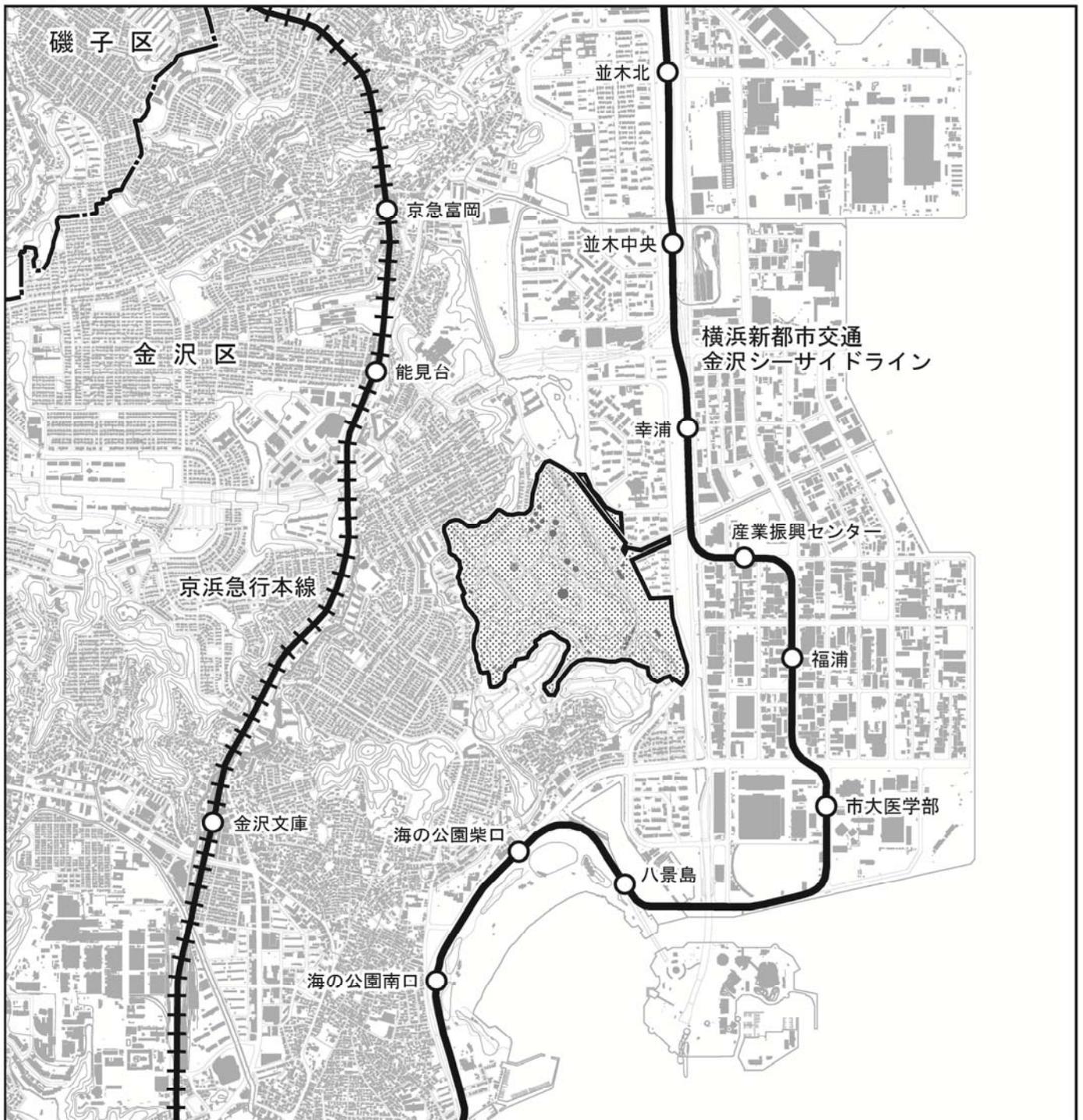
表 3.2-15 鉄道駅の乗車人数

(単位：人/日)

路線	駅名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
京浜急行本線	京急富岡	12,251	12,226	12,122	11,707	11,680
	能見台	15,133	15,276	15,553	15,223	15,444
	金沢文庫	35,239	35,081	35,402	34,365	34,588
金沢シーサイドライン	並木北	1,722	1,691	1,679	1,722	1,698
	並木中央	2,322	2,348	2,435	2,432	2,474
	幸浦	2,717	2,749	2,745	2,671	2,794
	産業振興センター	1,975	1,994	2,042	2,048	2,112
	福浦	1,769	1,837	1,811	1,743	1,859
	市大医学部	4,621	4,842	5,099	5,111	5,347
	八景島	2,202	2,272	2,453	2,390	2,460
	海の公園柴口	895	973	989	1,010	1,037
	海の公園南口	670	729	750	771	793

注) 太枠は計画地から最寄りの駅を示します。

資料：「横浜市統計書[web版]」（横浜市政策局総務部統計情報課ホームページ、平成28年10月調べ）



凡例

-  計画地
-  駅
-  鉄道
-  軌道



0 250 500 1,000  
m

1:25,000

図3.2-15 鉄道・軌道網図

資料:「国土数値情報(鉄道データ)」  
(国土交通省、平成28年10月調べ)

### 3.2.8 公共施設等の状況

#### 1) 教育機関等

調査対象地域における教育機関等は、表 3.2-16～17 及び図 3.2-16 に示すとおりです。

金沢区の調査対象地域内には、幼稚園・保育園が 36 施設、小学校が 13 校、中学校が 7 校、高等学校が 3 校あります。また、大学は、横浜市立大学があり、瀬戸に国際総合科学部が、福浦に医学部があります。

磯子区の調査対象地域内には、保育園が 2 施設あります。

表 3.2-16(1) 教育機関等（金沢区）

種 類	No.	名 称	所在地
幼稚園 ・保育園	1	こすもす幼稚園	金沢区富岡東 4-5-45
	2	さざなみ幼稚園	金沢区町屋町 2-2
	3	天使幼稚園	金沢区金沢町 48
	4	並木幼稚園	金沢区並木 1-10-2
	5	フレンド幼稚園	金沢区並木 2-3-2
	6	文庫幼稚園	金沢区西柴 4-24-1
	7	京急幼稚園	金沢区能見台 1-44-1
	8	横浜市金沢さくら保育園	金沢区泥亀 1-21-1
	9	横浜市釜利谷保育園	金沢区釜利谷東 1-1-3
	10	横浜市並木保育園	金沢区並木 1-4-4
	11	横浜市並木第二保育園	金沢区並木 1-23-6
	12	横浜市並木第三保育園	金沢区並木 3-9-1
	13	あおぞら谷津保育園	金沢区谷津町 231-5
	14	金沢愛児園	金沢区町屋町 16-23
	15	聖星保育園	金沢区平潟町 17-1
	16	わかくさ保育園	金沢区平潟町 12-1
	17	きらら保育園	金沢区能見台東 2-3
	18	YMCA マナ保育園	金沢区能見台東 1-1
	19	西柴保育園	金沢区西柴 3-31-1
	20	京急キッズランド金沢文庫保育園	金沢区谷津町 384 金沢文庫京急第 2 ビル
	21	かのん保育園	金沢区大川 7-20
	22	金沢びよっこ保育園	金沢区堀口 19-3
	23	しのめ保育園	金沢区寺前 1-8-28
	24	わらべシーサイド保育園	金沢区富岡東 4-13-4
	25	にじいろ保育園サクセス金沢文庫	金沢区釜利谷東 2-18-22
	26	ビアレ横浜スマイル保育園	金沢区並木 2-13-2 ビアレヨコハマ新館 2 階
	27	にじいろ保育園釜利谷	金沢区釜利谷東 2-15-8
	28	金沢八景 YMCA 保育園	金沢区瀬戸 23 番地 21 号
	29	スターチャイルド<金沢文庫ナカ>	金沢区谷津町 35 番地 VIC ビル 4 階
	30	アイン能見台駅前保育園	金沢区能見台通 2-6
	31	きらら子どもの家	金沢区能見台 5-20-1
	32	とみおかスマイル保育園	金沢区富岡東 5-19-9
	33	あい保育園富岡東	金沢区富岡東 6-3-10
	34	アイン金沢文庫保育園	金沢区釜利谷東 2-19-35
	35	マミズエンジェル金沢文庫駅前保育園	金沢区釜利谷東 2-14-3
	36	フレンド金沢文庫保育園	釜利谷東 2-16-30

表 3.2-16(2) 教育機関等 (金沢区)

種 類	No.	名 称	所在地
小学校	37	横浜市立金沢小学校	金沢区町屋町 26-26
	38	横浜市立富岡小学校	金沢区富岡西 7-13-1
	39	横浜市立八景小学校	金沢区泥亀 1-21-2
	40	横浜市立文庫小学校	金沢区寺前 2-21-7
	41	横浜市立西柴小学校	金沢区西柴 4-23-1
	42	横浜市立西富岡小学校	金沢区富岡西 5-49-1
	43	横浜市立並木第一小学校	金沢区並木 1-7-1
	44	横浜市立釜利谷東小学校	金沢区釜利谷東 2-12-1
	45	横浜市立並木中央小学校	金沢区並木 1-25-1
	46	横浜市立並木第四小学校	金沢区並木 3-10-1
	47	横浜市立能見台小学校	金沢区能見台 3-32-1
	48	横浜市立能見台南小学校	金沢区能見台 6-3-1
	49	横浜市立小田小学校	金沢区富岡西 1-69-1
中学校	50	横浜市立金沢中学校	金沢区釜利谷東 1-1-1
	51	横浜市立西柴中学校	金沢区西柴 1-23-1
	52	横浜市立富岡中学校	金沢区富岡西 5-46-1
	53	横浜市立富岡東中学校	金沢区並木 1-6-1
	54	横浜市立並木中学校	金沢区並木 3-4-1
	55	横浜市立小田中学校	金沢区富岡西 1-73-1
	56	横浜中学校	金沢区能見台通 47-1
高等学校	57	横浜市立金沢高等学校	金沢区瀬戸 22-1
	58	神奈川県立金沢総合高等学校	金沢区富岡東 6-34-1
	59	横浜高等学校	金沢区能見台通 46-1
大学	60	横浜市立大学 (国際総合科学部)	金沢区瀬戸 22-2
	61	横浜市立大学 (医学部)	金沢区福浦 3-9

注) 表中の No. は図 3.2-16 に対応します。

資料: 「金沢区区民生活マップ」 (金沢区ホームページ、平成 28 年 10 月調べ)

「ヨコハマはびねすぽっと」 (横浜市子ども青少年局ホームページ、平成 28 年 10 月調べ)

「神奈川県私立学校名簿」 (神奈川県民局くらし文化部学事振興課ホームページ、平成 28 年 10 月調べ)

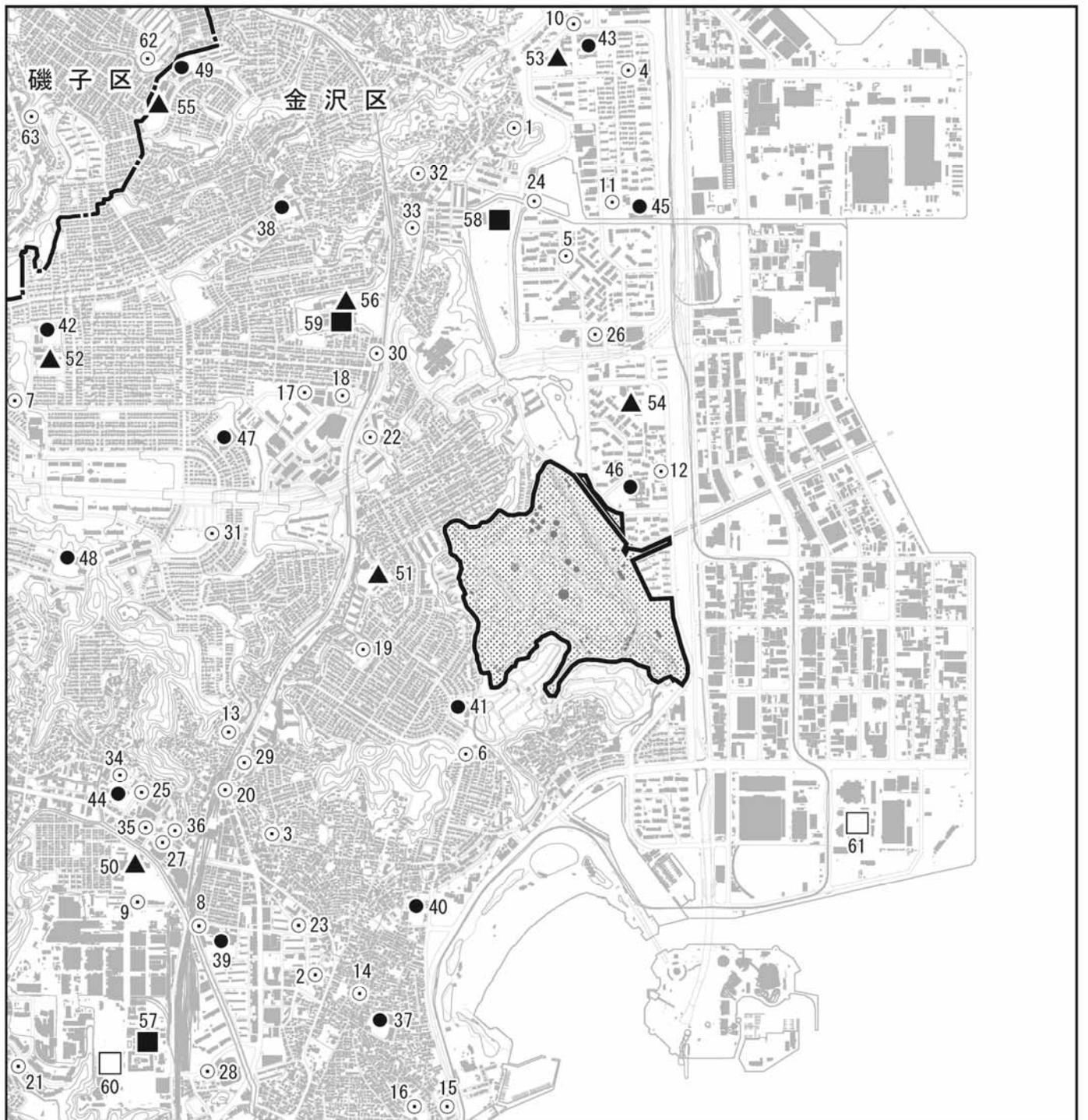
「神奈川県公立学校名簿」 (神奈川県教育委員会ホームページ、平成 28 年 10 月調べ)

表 3.2-17 教育機関等 (磯子区)

種 類	No.	名 称	所在地
保育園	62	横浜市杉田保育園	磯子区杉田 7-2-1
	63	つくしんぼ保育園	磯子区杉田 9-1-50

注) 表中の No. は図 3.2-16 に対応します。

資料: 「ヨコハマはびねすぽっと」 (横浜市子ども青少年局ホームページ、平成 28 年 10 月調べ)



凡例

計画地

- 幼稚園・保育園
- 小学校
- 中学校
- 高等学校
- 大学

※図中のNo.は  
表3.2-16~17に対応します。

資料:

- 「金沢区区民生活マップ」(金沢区ホームページ)
- 「ヨコハマはびねすぽっと」(横浜市子ども青少年局ホームページ)
- 「神奈川県私立学校名簿」(神奈川県県民くらし文化部学事振興課ホームページ)
- 「神奈川県公立学校名簿」(神奈川県教育委員会ホームページ) (共に平成28年10月調べ)



0 250 500 1,000  
m  
1:25,000

図3.2-16 教育機関等

## 2) 医療機関

調査対象地域における主な医療機関は、表 3.2-18 及び図 3.2-17 に示すとおりです。

金沢区の調査対象地域内には、横浜市立大学附属病院、神奈川県立循環器呼吸器病センター等をはじめ、主な医療機関が 6 施設あります。

なお、磯子区の調査対象地域には、主な医療機関はありません。

表 3.2-18 主な医療機関

No.	名 称	所在地
1	医療法人社団愛友会 金沢文庫病院	金沢区釜利谷東 2-6-22
2	医療法人社団景翠会 金沢病院	金沢区泥亀 2-8-3
3	神奈川県立 循環器呼吸器病センター	金沢区富岡東 6-16-1
4	医療法人社団協友会 横浜なみきりハビリテーション病院	金沢区並木 2-8-1
5	社会福祉法人恩賜財団 済生会若草病院	金沢区平潟町 12-1
6	公立大学法人 横浜市立大学附属病院	金沢区福浦 3-9

注) 表中の No. は図 3.2-17 に対応します。

資料：「横浜市内の病院・一般診療所・歯科診療所名簿（平成 28 年 7 月）」  
（横浜市健康福祉局ホームページ、平成 28 年 10 月調べ）

## 3) 官公庁

調査対象地域の主な官公庁は、表 3.2-19 及び図 3.2-18 に示すとおりです。

金沢区の調査対象地域内における主な官公庁は、計画地の南西約 1,500m にある金沢区役所を中心に警察署、消防署、郵便局などが隣接しています。

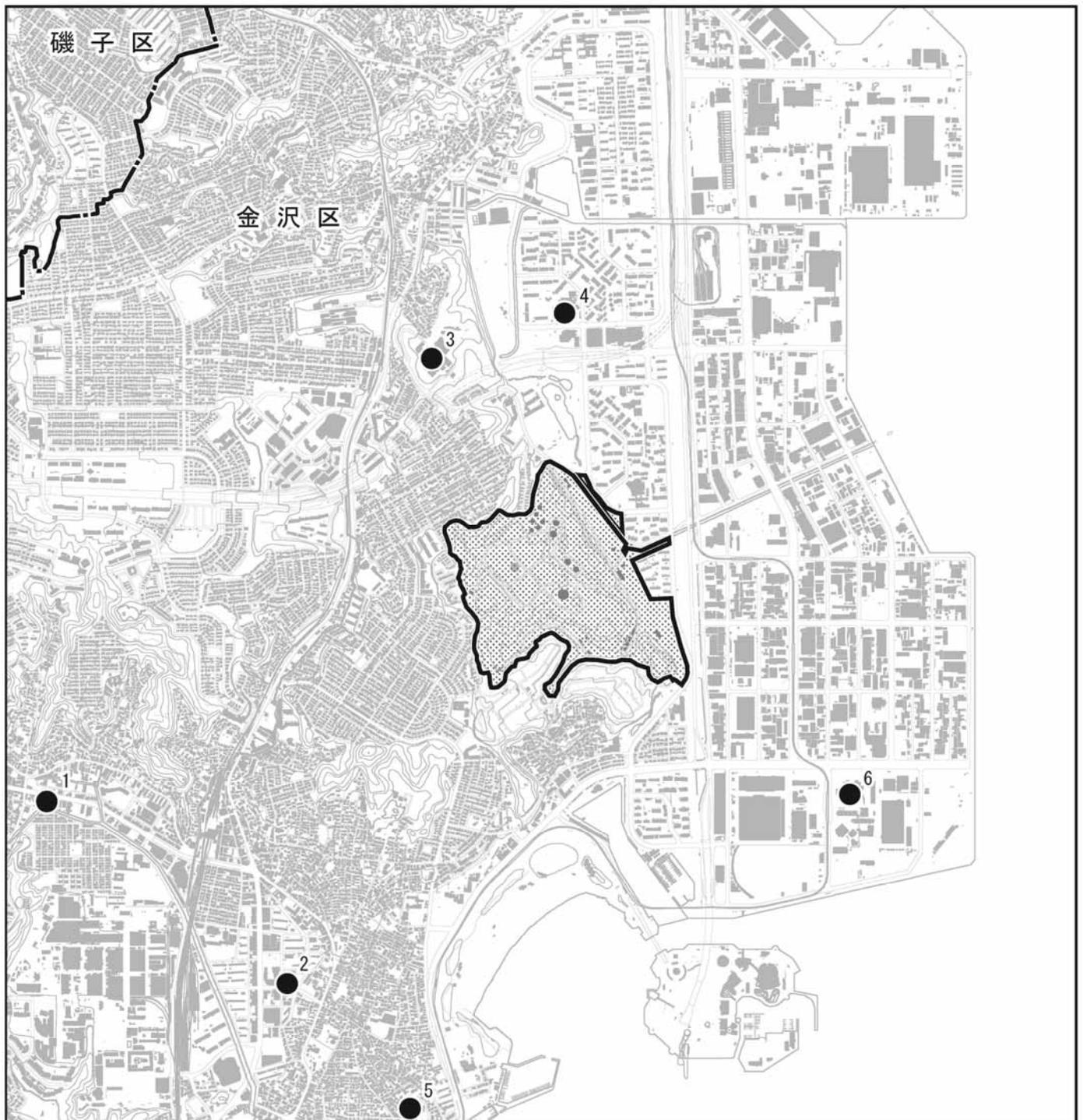
なお、磯子区の調査対象地域には、主な官公庁はありません。

表 3.2-19 主な官公庁

No.	名 称	所在地
1	金沢区役所	金沢区泥亀二丁目 9-1
2	横浜市金沢福祉保健センター	金沢区泥亀二丁目 9-1
3	金沢警察署	金沢区泥亀二丁目 10-1
4	金沢消防署	金沢区泥亀二丁目 9-1
5	横浜金沢郵便局	金沢区泥亀二丁目 10-2
6	横浜地方法務局金沢出張所	金沢区泥亀二丁目 7-1
7	横浜南税務署	金沢区並木三丁目 2-9
8	横浜南公共職業安定所	金沢区寺前一丁目 9-6

注) 表中の No. は図 3.2-18 に対応します。

資料：「横浜市暮らしのガイド」（横浜市民政局広報課、平成 28 年 10 月調べ）

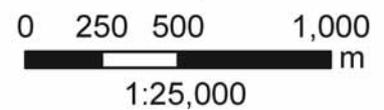


凡例

 計画地

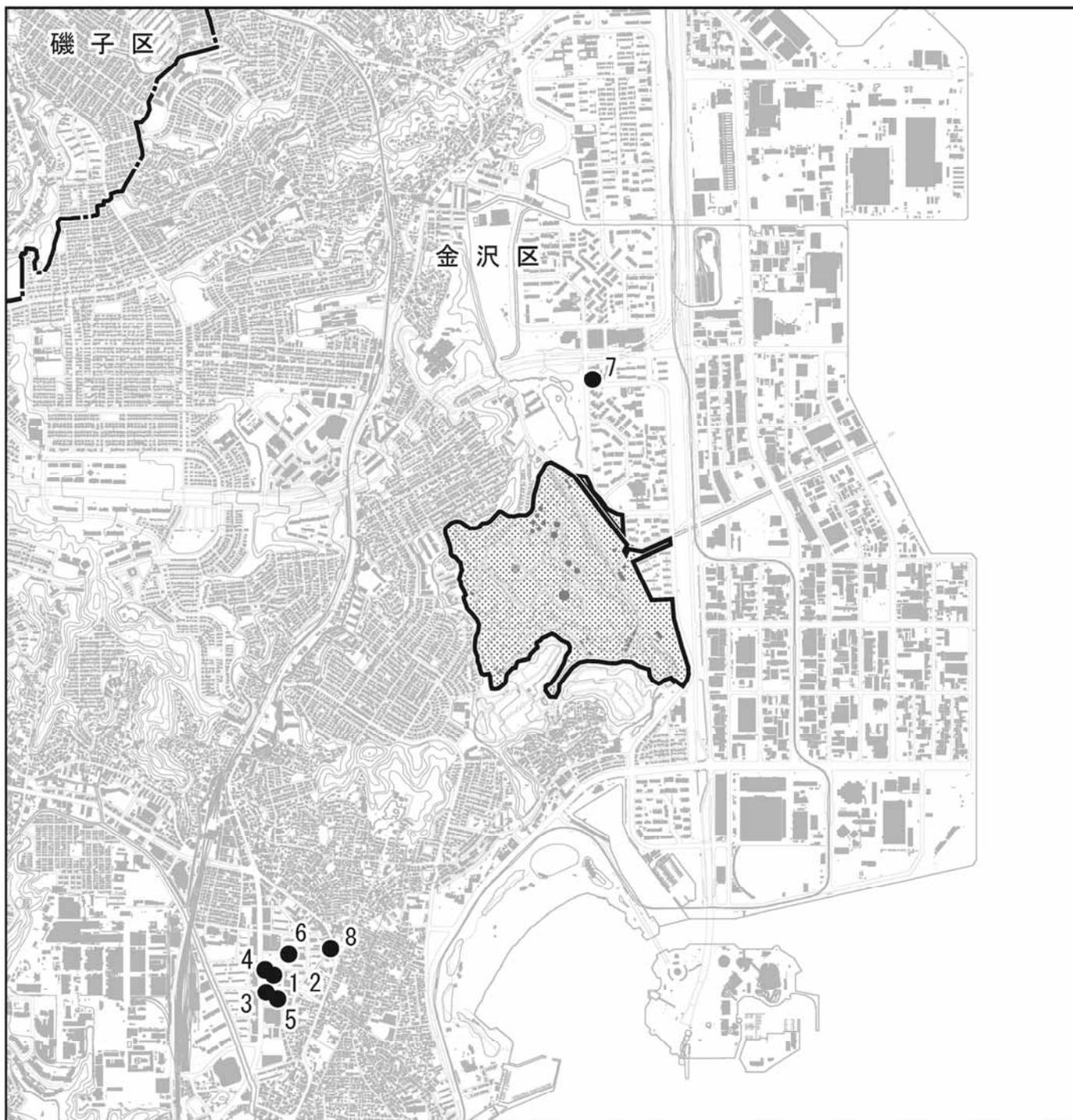
 主な医療機関

※図中のNo.は表3.2-18に対応します。



資料：  
「横浜市内の病院・一般診療所・歯科診療所名簿（平成28年7月）」  
（横浜市健康福祉局ホームページ、平成28年10月調べ）

図3.2-17 主な医療機関



凡例

 計画地

 主な官公庁

※図中のNo.は表3.2-19に対応します。



0 250 500 1,000  
m  
1:25,000

資料:  
「横浜市暮らしのガイド」  
(横浜市市民局広報課ホームページ、平成28年10月調べ)

図3.2-18 主な官公庁

#### 4) 福祉施設等

調査対象地域の福祉施設等は、表 3.2-20 及び図 3.2-19 に示すとおりです。

計画地の南西約 1,600m に位置するいきいきセンター金沢内に、福祉保健活動拠点の金沢区福祉保健活動拠点、地域ケアプラザの泥亀地域ケアプラザ及び老人福祉センターの晴嵐かなざわがあります。また、富岡西、富岡東及び能見台東に地域ケアプラザがあります。

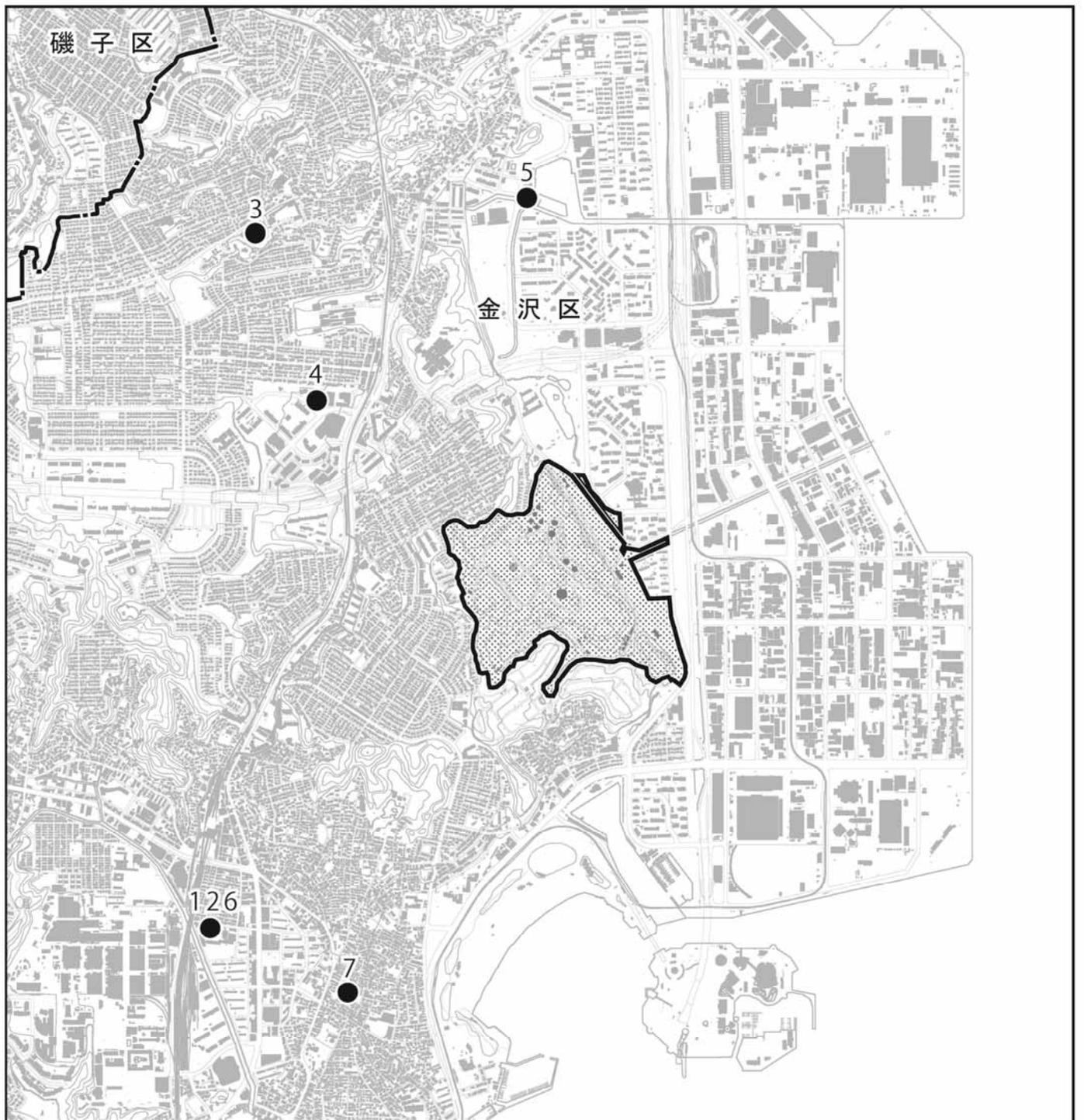
なお、磯子区の調査対象地域には、福祉施設等はありません。

表 3.2-20 福祉施設等

施設	No.	名称	所在地
福祉保健活動拠点	1	横浜市金沢区福祉保健活動拠点	金沢区泥亀 1-21-5 (いきいきセンター金沢内)
地域ケアプラザ	2	横浜市泥亀地域ケアプラザ	金沢区泥亀 1-21-5 (いきいきセンター金沢内)
	3	横浜市富岡地域ケアプラザ	金沢区富岡西 7-16-1
	4	横浜市能見台地域ケアプラザ	金沢区能見台東 2-1
	5	横浜市富岡東地域ケアプラザ	金沢区富岡東 4-13-3
老人福祉センター	6	晴嵐かなざわ	金沢区泥亀 1-21-5 (いきいきセンター金沢内)
その他	7	金沢区老人憩いの家	金沢区町屋町 16-28「伝心寺」内

注) 表中の No. は図 3.2-19 に対応します。

資料：「区内公共施設のご案内 区民福祉施設マップ」(横浜市金沢区ホームページ、平成 28 年 10 月調べ)



凡例

 計画地

 福祉施設等

※図中のNo.は表3.2-20に対応します。



0 250 500 1,000  
m

1:25,000

資料：  
「区内公共施設のご案内 区民福祉施設マップ」  
(横浜市金沢区ホームページ、平成28年10月調べ)

図3.2-19 福祉施設等

## 5) その他の市民利用施設

調査対象地域のその他の市民利用施設は、表 3.2-21 及び図 3.2-20 に示すとおりです。

金沢区の調査対象地域には、各地区センターやコミュニティハウスのほか、金沢図書館、金沢スポーツセンター、金沢公会堂等の市民利用施設があります。

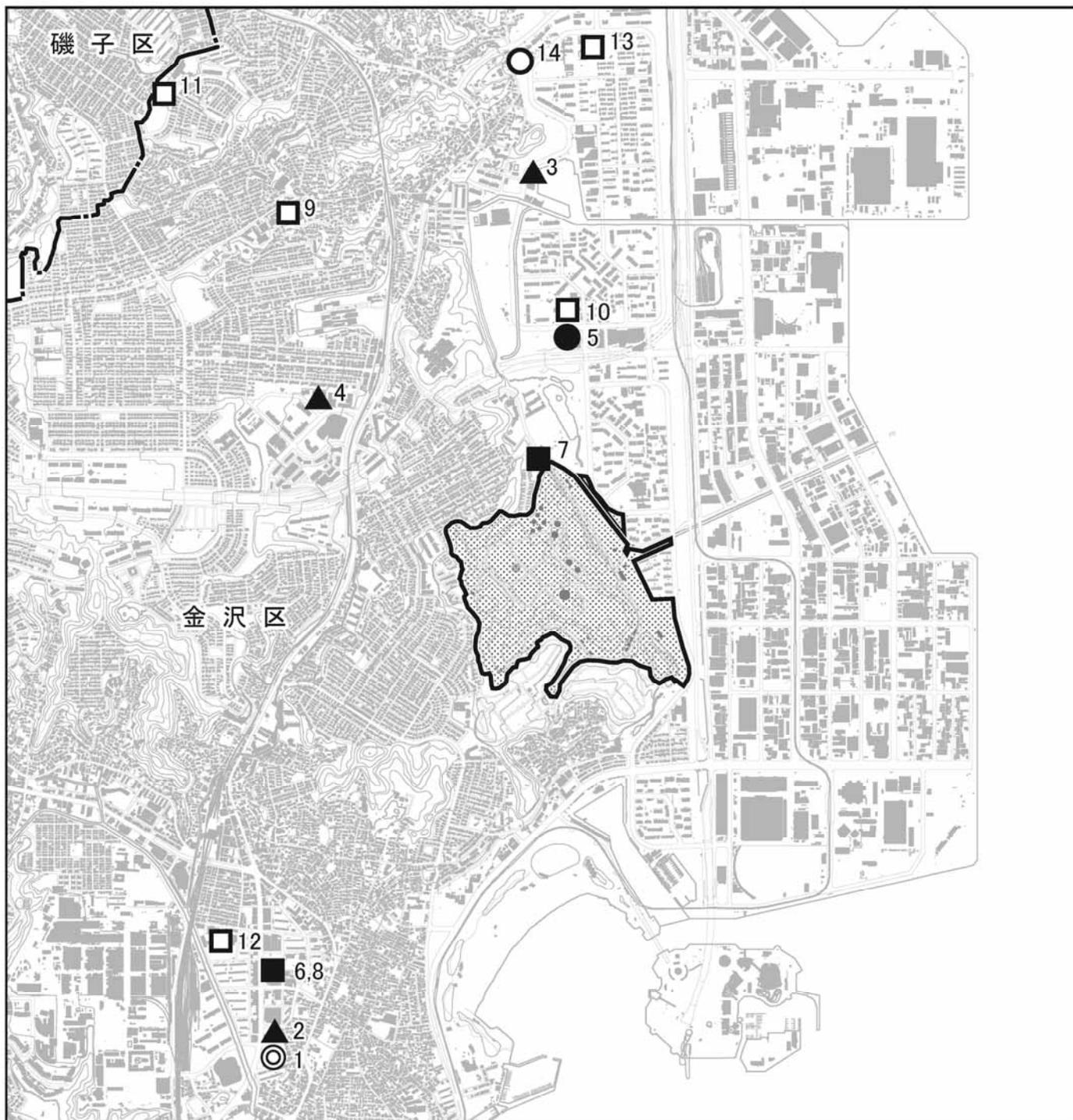
なお、磯子区の調査対象地域には、市民利用施設はありません。

表 3.2-21 その他の市民利用施設

施設	No.	名称	所在地
図書館	1	金沢図書館	金沢区泥亀 2-14-5 (金沢地区センター併設)
地区センター	2	金沢地区センター	金沢区泥亀 2-14-5
	3	富岡並木地区センター	金沢区富岡東 4-13-2
	4	能見台地区センター	金沢区能見台東 2-1
スポーツ施設	5	金沢スポーツセンター	金沢区長浜 106-8
文化施設	6	金沢公会堂	金沢区泥亀 2-9-1 (金沢区総合庁舎内)
	7	長浜ホール	金沢区長浜 114-4 (長浜野口記念公園内)
	8	金沢国際交流ラウンジ	金沢区泥亀 2-9-1 (金沢区総合庁舎内)
コミュニティハウス	9	富岡コミュニティハウス	金沢区富岡西 7-13-1 (富岡小学校内)
	10	並木コミュニティハウス	金沢区並木 2-8-1 (横浜なみきリハビリテーション病院内)
	11	小田コミュニティハウス	金沢区富岡西 1-73-1 (小田中学校内)
	12	八景コミュニティハウス	金沢区泥亀 1-21-2 (八景小学校内)
	13	並木北コミュニティハウス	金沢区並木 1-7-1 (並木第一小学校内)
その他	14	富岡八幡公園こどもログハウス	金沢区富岡東 4-12

注) 表中の No. は図 3.2-20 に対応します。

資料: 「区内公共施設のご案内 区民利用施設マップ」 (横浜市金沢区ホームページ、平成 28 年 10 月調べ)



凡例

- |   |        |   |           |
|---|--------|---|-----------|
|  | 計画地    |  | 文化施設      |
|  | 図書館    |  | コミュニティハウス |
|  | 地区センター |  | その他       |
|  | スポーツ施設 |   |           |

※図中のNo.は表3.2-21に対応します。



0 250 500 1,000  
m

1:25,000

資料：  
「区内公共施設のご案内 区民利用施設マップ」  
(横浜市金沢区ホームページ、平成28年10月調べ)

図3.2-20 その他の市民利用施設

6) 公園・緑地等

調査対象地域の主な都市公園は、表 3.2-22～26 及び図 3.2-21 に示すとおりです。

金沢区は、横浜市のなかで最も公園・緑地面積が大きく、計画地周辺にも多くの公園緑地があります。なかでも、横浜市唯一の海水浴場である「海の公園海水浴場」がある総合公園の海の公園や、歴史公園の長浜野口記念公園、運動公園の長浜公園、緩衝緑地の金沢緑地、都市緑地の能見堂緑地など多彩な公園・緑地があります。

表 3.2-22(1) 都市公園（金沢区）

種別	番号	名称	面積(m <sup>2</sup> )	種別	番号	名称	面積(m <sup>2</sup> )
緩衝緑地	1	金沢緑地	153,127	街区公園	44	潮通り公園	2,251
都市緑地	2	富岡緑地	5,746		45	柴町公園	320
	3	富岡並木ふなだまり公園	43,648		46	柴仲町公園	598
	4	長浜緑地	33,619		47	下ノ浜公園	809
	5	能見堂緑地	238,054		48	称名寺東公園	6,672
	6	小柴崎緑道	50,656		49	城山台公園	2,013
緑道	7	長浜緑道	5,555		50	泥亀一丁目公園	4,746
	8	長浜野口記念公園	11,352		51	泥亀公園	3,099
歴史公園	9	海の公園	470,155		52	寺前さざなみ公園	1,486
総合公園	10	富岡総合公園	219,208		53	寺前町公園	882
	11	長浜公園	154,309		54	鶯崎公園	1,200
運動公園	12	富岡西	35,000		55	富岡第二公園	1,214
	13	富岡八幡	42,703		56	富岡第三公園	7,063
地区公園	14	阿王ヶ台公園	17,698		57	富岡第四公園	2,522
	15	富岡公園	18,898		58	富岡第五公園	4,728
	16	能見台北公園	24,199		59	富岡第六公園	2,016
	17	能見台中央公園	28,865		60	富岡第七公園	2,042
	18	能見台東公園	37,544		61	富岡大谷公園	872
	19	能見台堀口北公園	10,000		62	富岡大谷第三公園	596
	20	堀口西公園	14,308		63	富岡桜ヶ丘公園	269
	21	まつかぜ公園	19,754		64	富岡西一丁目公園	6,720
近隣公園	22	赤井谷公園	816		65	富岡西三丁目公園	422
	23	赤井谷第二公園	402		66	富岡西七丁目公園	991
	24	赤井谷第三公園	847		67	富岡西ふれあいの辻公園	200
	25	イガイ根公園	2,000		68	富岡ひかりが丘公園	3,299
	26	イド藻公園	2,000		69	鳥見ヶ丘第二公園	642
	27	大川公園	462		70	長浜第二公園	174
	28	乙舳公園	8,229		71	長浜第三公園	409
	29	牡蠣根公園	2,000		72	長浜みはらし公園	3,343
	30	カゼ場公園	2,000		73	中藻公園	2,000
	31	片吹公園	6,736		74	並木十二天公園	4,484
	32	片吹第二公園	1,022		75	西柴第一公園	2,951
	33	金沢町公園	4,236		76	西柴第二公園	576
	34	金沢町第二公園	1,002		77	西柴第三公園	1,058
	35	釜利谷公園	1,293		78	西柴第四公園	734
	36	釜利谷第二公園	2,879		79	西柴第五公園	230
	37	釜利谷第三公園	841		80	西柴一丁目公園	734
	38	釜利谷第四公園	801		81	西柴台公園	927
	39	釜利谷第五公園	771		82	能見台あきこれ公園	1,945
	40	釜利谷赤坂公園	4,207		83	能見台千丈公園	7,350
	41	カメギ根公園	2,000		84	能見台瀧公園	2,651
	42	小柴浜公園	203		85	能見台平原公園	2,454
	43	サルダの鼻公園	2,000		86	のりべか公園	2,000

注) 表中の番号は図 3.2-21 に対応します。

表 3.2-22(2) 都市公園（金沢区）

種別	番号	名称	面積(m <sup>2</sup> )	種別	番号	名称	面積(m <sup>2</sup> )
街区公園	87	走川公園	1,800	街区公園	96	マサキの鼻公園	1,247
	88	八景西公園	9,002		97	宮ノ前公園	2,000
	89	東富岡公園	2,889		98	谷津公園	770
	90	東浜公園	2,000		99	谷津坂第一公園	3,655
	91	姫の島公園	3,413		100	谷津坂第二公園	1,342
	92	平潟公園	1,172		101	谷津坂第三公園	358
	93	干網公園	2,000		102	谷津坂南公園	6,215
	94	堀口公園	1,869		103	谷津染井公園	1,645
	95	堀口第三公園	1,006				

注) 表中の番号は図 3.2-21 に対応します。

表 3.2-23 港湾緑地（金沢区）

種別	番号	名称	面積(m <sup>2</sup> )	種別	番号	名称	面積(m <sup>2</sup> )
港湾緑地	104	金沢木材ふ頭緑地	24,592	港湾緑地	106	金沢福浦地区緑地	33,026
	105	金沢水際線緑地	98,441		107	八景島緑地	138,921

注) 表中の番号は図 3.2-21 に対応します。

表 3.2-24 緑地（金沢区）

種別	番号	名称	面積(ha)
市民の森	108	称名寺市民の森	10.7
市有緑地	109	釜利谷緑地	0.1
	110	片吹緑地	0.1
特別緑地保全地区	111	柴・長浜特別緑地保全地区	1.3
	112	釜利谷特別緑地保全地区	12.0
	113	御伊勢山・権現山特別緑地保全地区	11.0

注) 表中の番号は図 3.2-21 に対応します。

表 3.2-25 都市公園（磯子区）

種別	番号	名称	面積(m <sup>2</sup> )
街区公園	114	杉田遠道山公園	613
	115	杉田大谷第二公園	1,633
	116	杉田大谷第三公園	2,336
	117	杉田大谷第四公園	246
	118	杉田郷戸公園	1,030

注) 表中の番号は図 3.2-21 に対応します。

表 3.2-26 緑地（磯子区）

種別	番号	名称	面積(ha)
市有緑地	119	杉田九丁目緑地	0.3
	120	上中里町緑地	0.3

注) 表中の番号は図 3.2-21 に対応します。

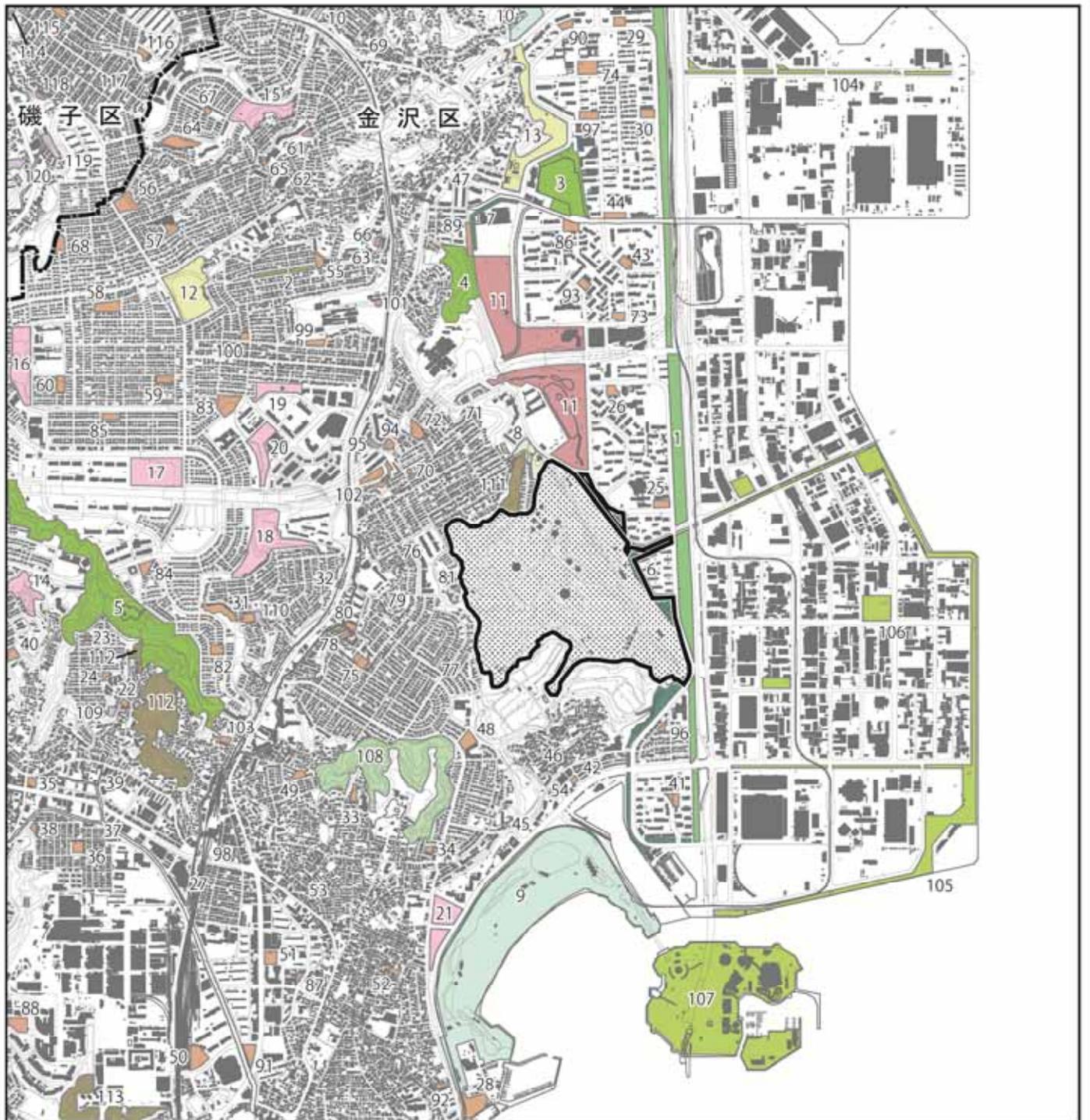
資料 : 共に「横浜市公園緑地配置図」(平成 24 年 7 月、横浜市環境創造局)

(参考) 都市公園の種類

種類	種別	内容
住区基幹公園	街区公園	もっぱら街区に居住する者の利用に供することを目的とする公園で誘致距離 250m の範囲内で1箇所当たり面積 0.25ha を標準として配置する。
	近隣公園	主として近隣に居住する者の利用に供することを目的とする公園で近隣住区当たり 1 箇所を誘致距離 500m の範囲内で1箇所当たり面積 2ha を標準として配置する。
	地区公園	主として徒歩圏内に居住する者の利用に供することを目的とする公園で誘致距離 1km の範囲内で1箇所当たり面積 4ha を標準として配置する。都市計画区域外の一定の町村における特定地区公園（カントリーパーク）は、面積 4ha 以上を標準とする。
都市基幹公園	総合公園	都市住民全般の休息、観賞、散歩、遊戯、運動等総合的な利用に供することを目的とする公園で都市規模に応じ1箇所当たり面積 10～50ha を標準として配置する。
	運動公園	都市住民全般の主として運動の用に供することを目的とする公園で都市規模に応じ1箇所当たり面積 15～75ha を標準として配置する。
大規模公園	広域公園	主として一の市町村の区域を超える広域のレクリエーション需要を充足することを目的とする公園で、地方生活圈等広域的なブロック単位ごとに1箇所当たり面積 50ha 以上を標準として配置する。
	レクリエーション都市	大都市その他の都市圏域から発生する多様かつ選択性に富んだ広域レクリエーション需要を充足することを目的とし、総合的な都市計画に基づき、自然環境の良好な地域を主体に、大規模な公園を核として各種のレクリエーション施設が配置される一団の地域であり、大都市圏その他の都市圏域から容易に到達可能な場所に、全体規模 1000ha を標準として配置する。
	国営公園	主として一の都府県の区域を超えるような広域的な利用に供することを目的として国が設置する大規模な公園にあつては、1箇所当たりの面積を概ね 300ha 以上を標準として配置する。国家的な記念事業等として設置するものにあつては、その設置目的にふさわしい内容を有するように配置する。
緩衝緑地等	特殊公園	風致公園、動植物公園、歴史公園、墓園等特殊な公園で、その目的に則し配置する。
	緩衝緑地	大気汚染、騒音、振動、悪臭等の公害防止、緩和若しくはコンビナート地帯等の災害の防止を図ることを目的とする緑地で、公害、災害発生源地域と住居地域、商業地域等とを分離遮断することが必要な位置について公害、災害の状況に応じ配置する。
	都市緑地	主として都市の自然的環境の保全並びに改善、都市の景観の向上を図るために設けられている緑地であり、1箇所当り面積 0.1ha 以上を標準として配置する。ただし、既成市街地等において良好な樹林地等がある場合あるいは植樹により都市に緑を増加又は回復させ都市環境の改善を図るために緑地を設ける場合にあつてはその規模を 0.05ha 以上とする。(都市計画決定を行わずに借地により整備し都市公園として配置するものを含む)
	緑道	災害時における避難路の確保、都市生活の安全性及び快適性の確保等を図ることを目的として、近隣住区又は近隣住区相互を連絡するように設けられる植樹帯及び歩行者路又は自転車路を主体とする緑地で幅員 10～20m を標準として、公園、学校、ショッピングセンター、駅前広場等を相互に結ぶよう配置する。

注) 近隣住区＝幹線街路等に囲まれた概ね 1km 四方(面積 100ha)の居住単位

出典：「都市公園の種類 公園とみどり」（国土交通省ホームページ、平成 27 年 12 月調べ）



凡例

- |  |  |  |
|--|--|--|
|  計画地  |  運動公園 |  市民の森     |
|  緩衝緑地 |  地区公園 |  市有緑地     |
|  都市緑地 |  近隣公園 |  特別緑地保全地区 |
|  緑道   |  街区公園 |  |
|  歴史公園 |  港湾緑地 |  |
|  総合公園 |  |  |



0 250 500 1,000  
m

1:25,000

※図中のNo.は表3.2-22～26に対応します。

図3.2-21 公園・緑地

資料:「横浜市公園緑地配置図」(平成24年7月、横浜市環境創造局)